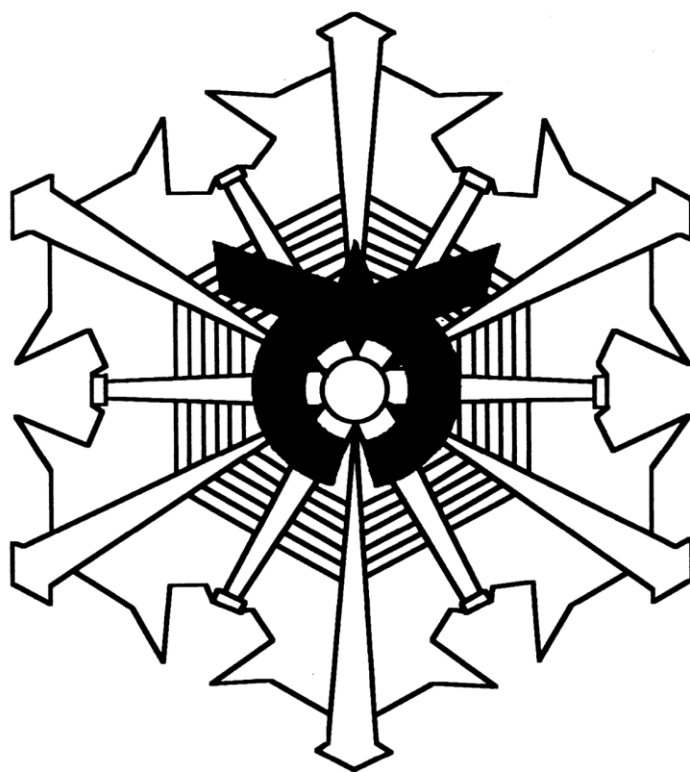


消 防 年 報

平 成 2 2 年 版



大 月 市 消 防 本 部

は じ め に

この年報は、大月市消防本部の業務実績を一般に紹介し災害予防に資するために編集いたしました。

消防行政の現況をご理解いただき、今後とも関係各位のご指導とご協力をお願いいたします。

1. この資料の統計は、原則として暦年としましたが、予算・人事関係は4月1日現在をもって記載しました。
2. 数字の単位未満は、四捨五入を原則としております。従って、合計と内訳の数値とは一致しない場合があります。また、表中の単位未満は0、該当数字なしは空欄としました。

目 次

大月市の概要	1
大月市消防のあゆみ	2

総 務

管内の面積及び人口・世帯	12
一般会計予算と消防予算の割合	13
平成22・23年度消防費当初予算目別構成	14
消防組織	15
消防本部・署の現勢力	16
消防職員定数・実数及び配置状況	17
消防職員階級別年齢・消防職員勤続年数	18
消防職員実員累年比較	19
消防職員各種資格免許取得状況	21

予 防

用途別防火対象物	22
消防用設備の設置状況	23
各種届出・検査・許可等処理状況	24
防火対象物査察実施状況	25
防火対象物定期点検対象物及び特例対象物の状況	26
防火管理	27
建築同意事務処理状況	28
規模・構造別建築同意件数	29
危険物規制事務・数量別危険物施設の現況	30
地区別危険物施設数	31
業態別危険物施設数、区分別危険物施設数	32
過去5年間の危険物施設完成検査状況	33
予防技術資格者の認定状況	34

警 防

火災状況、月別出場状況	35
過去5年間の原因別火災状況	36
過去5年間の曜日別火災状況	37
過去5年間の地区別火災状況	38
過去5年間の火災状況、中央自動車道過去5年間の火災状況	39
過去30年間の主な火災	40
救急概要、平成22年救急出場状況	41
月別出場件数	42
種別・曜日別出場件数	43
時間別出場件数	44
年齢別搬送状況、傷病程度	45
過去10年間の救急出場件数、過去10年間の搬送人員	46
過去10年間の中央自動車道における救急出場状況	47
救助活動状況	48
車両配置状況	49
資機材保有状況	50
町別防火水槽設置状況、年度別防火水槽設置状況	51
応急手当・消火避難訓練等対外指導	52
月別気象状況	53
月別気象情報	54
通信系統図	55
ふれあいペンダント緊急通報システム図	56
ふれあいペンダント設置数・受信状況	57

消 防 団

消防団の現勢力	58
消防団員階級別年齢・消防団員報酬・手当・交付金	59
平成22年度消防団の火災等出場状況	60
消防団分団別車両等配置図	61

大 月 市 の 概 要

自 然 環 境

大月市は東経138度56分、北緯35度36分、山梨県の東部に位置し、北西は大菩薩南山稜、南は御坂山系、北東は秩父山系から連なる山々に囲まれて、北西部が高く、南東部が低くなっている。又、西から東に笹子川・桂川が流れ、その河川沿いに河岸段丘がひらけている。

東西27.1km、南北19.2km、面積280.30km²の広さを有し、その約86%を山林・原野が占めている。周辺の間々は豊かな緑に恵まれ、溪谷がいたる所にあり雄大で美しい自然に抱かれた町である。

社 会 環 境

大月市は人口28,326人、世帯数10,664世帯（平成23年4月1日現在）で、首都東京都と県都甲府市の間に位置し、両経済圏から受ける社会的、経済的影響も大きい。

市は、昭和29年8月町村合併促進法に基づき、笹子村、初狩村、大月町、賑岡村、七保町、猿橋町及び梁川村が、同9月には富浜村が合併し、大月市として発足した。

交通は、東西にJR中央本線が走り、市内には6駅がある。特に大月駅は私鉄富士急行線の始発駅も併設している。

道路は、国道20号線をはじめ、139号線、県道・市道が市民生活を結ぶ交通網として張り巡らされ、大月市街地の交通渋滞緩和を目的とした大月バイパスが一部開通し交通基盤の整備が進行している。

また、中央自動車道は上野原ICから大月IC間が6車線となり、ますます利便性が高まっている。

大 月 市 消 防 の あ ゆ み

昭和29年度	8月	町村合併促進法に基づき3町5村が合併、旧町村単位の8消防団が統合、1団8分団59部、団員2,169名の大月市消防団が発足（但し富浜村は9月合併）
昭和34年度	4月	第一次消防近代化計画により消防団員を1,830名に削減
昭和40年度	4月	政令指定の公布を受け常備消防が発足、大月市大月一丁目15番20号大月市消防本部及び消防署を設置、これに伴い消防職員16名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配備 初代消防長事務取扱（助役小林美永氏）就任
	9月	消防職員1名採用
昭和41年度	4月	第二次消防近代化計画により消防団員を1,235名に削減
	5月	消防職員2名採用（19名）
	10月	消防署の救急車を更新 消防職員1名採用（補充）
	3月	消防団第8分団第2部（新倉・塩瀬）に小型動力ポンプ台車付1台を配備
昭和42年度	4月	第2代消防長事務取扱（助役小俣治男氏）就任 消防職員1名採用（補充）
	5月	消防団第7分団第2部（下鳥沢）に消防ポンプ自動車1台を配備
	9月	消防団第5分団第6部（上和田）に消防ポンプ自動車1台を配備
	10月	消防職員1名採用（補充）
	12月	消防団第3分団第8部（上真木）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	3月	消防団第3分団第9部（間明野）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
昭和43年度	4月	消防署に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	7月	消防団第7分団第3部（小向・袴着）に消防ポンプ自動車1台を配備
	9月	消防署に化学消防ポンプ自動車1台を配備
	10月	消防本部及び消防署を大月市大月二丁目20番3号に移転（旧職業安定所庁舎） 消防無線を中短波から超短波に変更
	12月	中央自動車道富士吉田線の開通を控え、日本道路公団から救急車1台の貸与を受け消防署に配備
	1月	消防職員4名採用（23名）
昭和44年度	3月	中央自動車道富士吉田線の供用開始に伴い消防救急業務を開始
	4月	消防本部に日本消防協会から指令車1台が寄贈され消防署に配備
	5月	消防団第3分団第6部（下真木）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	6月	消防職員1名採用（補充）
	9月	消防団第4分団第2部（強瀬）に消防ポンプ自動車1台を配備
	1月	消防職員1名採用（24名）

昭和45年度	4月	消防本部及び消防署を大月市大月二丁目20番5号に移転（旧林務事務所庁舎） 消防職員2名採用（内1名補充、25名）
	7月	消防団員第2分団第4部（側子）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	10月	消防団第3分団第5部（上花咲）に消防ポンプ自動車1台を配備
	12月	消防団第5分団第2部（大島）同第12部（林）に小型動力ポンプ台車付各1台を配備
	1月	消防職員1名採用（26名）
昭和46年度	4月	消防署に指令車（ジープ）1台を配備 消防職員1名を採用（補充）
	8月	消防団第2分団第2部（藤沢）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	9月	消防団第6分団第3部（小沢）及び第7分団第5部（中野・山谷）に消防ポンプ自動車各1台を配備 消防団第1分団第4部（阿弥陀海）に小型動力ポンプ台車付1台を配備
	11月	消防署に小型動力ポンプ1台を配備
	12月	消防団第8分団第1部（綱の上）同第4部（下畑）に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備
昭和47年度	4月	消防職員2名採用（内1名補充、27名）
	11月	消防団第6分団第10部（幡野）に小型動力ポンプ台車付1台を配備 消防団第7分団第1部（上鳥沢）に小型動力ポンプ1台を配備
	12月	消防団第5分団第10部（浅川）同第11部（下瀬戸）及び第8分団第3部（彦田・立野）に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備
昭和48年度	5月	消防団第3分団第3部（大月）の消防ポンプ自動車を更新
	6月	大月ロータリークラブから指令車1台の寄贈を受け、消防署に配備
	8月	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、消防署に配備 消防団第3分団第4部（下花咲）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備第1分団第3部（吉久保）及び第6分団第8部（小篠）に小型動力ポンプ台車付各1台を配備
	9月	消防団第4分団第4部（下畑倉）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	10月	消防団第1分団第6部（追分）に消防ポンプ自動車1台を配備
	12月	中央自動車道富士吉田線八王子大月間が4車線供用開始
昭和49年度	4月	消防職員2名採用（29名）
	6月	消防団第5分団第7部（田無瀬）に小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）1台を配備、第2分団第1部（下初狩）第7分団第4部（宮谷）に小型動力ポンプ台車付各1台を配備、及び消防団第2分団第3部（神戸・立河原）に小型動力ポンプ1台を配備
	8月	日本消防協会から救急車の寄贈を受け、消防署に配備

	12月	消防署に梯子車（18m級）1台を配備（大月梯子1） 消防団第6分団第1部（猿橋）の消防ポンプ自動車を更新 消防本部に通信指令装置を購入、専用通信指令室運用開始
昭和50年度	4月	大月市（大月市消防本部）は隣接する北都留郡丹波山村及び小菅村の消防事務の一部（常備消防）委託を受け、大月市消防署小菅出張所、丹波山出張所を設置、消防職員4名採用し各出張所に消防職員2名を配属、消防ポンプ自動車1台及び救急車1台をそれぞれに配備（33名） 昭和44年4月配備の指令車を更新（広報、査察兼用）
	10月	消防団第4分団第8部（西奥山）に小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）1台を配備 消防団第4分団第3部（岩殿）及び第5分団第5部（瀬戸・草木）に小型動力ポンプ台車付1台を配備
	12月	消防職員1名採用（補充）
	1月	消防署に昭和41年10月配備の救急車を廃車
昭和51年度	9月	消防署に消防ポンプ自動車1台を配備 消防団第5分団第8部（井戸地・川津畑）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	10月	消防団第5分団第1部（葛野）の消防ポンプ自動車を更新
	12月	消防職員1名採用（補充）
昭和52年度	4月	消防長（職務代理）（署長岸野幾一氏） 消防職員4名採用、1名を小菅出張所に配属、（37名、小菅出張所3名） 中央自動車道西宮線供用開始
	5月	消防職員1名採用（38名）
	6月	第3代消防長鈴木一敬氏就任専任消防長となる（39名）
	12月	消防団5分団第4部（駒宮）同第9部（奈良子）に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備 消防団第5分団第3部（下和田）に小型動力ポンプ1台を配備
	3月	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け、消防署に配備
昭和53年度	4月	消防職員5名採用、内1名を丹波山出張所に配属（44名、丹波山出張所3名） 第三次消防近代化計画により消防団員削減（3年間に215名削減）第1年次80名削減
	8月	消防団第1分団（笹子）、同第2部（原）に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備 消防署に昭和40年4月配備の消防ポンプ自動車を廃車
	10月	日本消防協会から広報車1台の寄贈を受け、消防署に配備
	11月	消防団第6分団第5部（朝日小沢）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備
	12月	消防署に昭和43年12月日本道路公団から貸与された救急車を廃車
昭和54年度	4月	第三次消防近代化計画、第2年次消防団員75名を削減
	10月	消防職員1名採用（補充）
	12月	消防団第5分団第12部（林）に小型動力ポンプ付積載車1台

		を配備 消防署の小型動力ポンプ付積載車を更新
昭和55年度	4月	第三次消防近代化計画、第3年次消防団員60名を削減、定数1,020名となる
	10月	消防団第4分団第5部(上畑倉)、同第7部(東奥山)に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け消防署に配備
	11月	消防団第5分団第3部(下和田)の消防ポンプ自動車を更新
	12月	消防団第3分団第6部(下真木)の消防ポンプ自動車を更新 消防団第6分団第9部(田中)、同第2部(小倉)に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備
昭和56年度	4月	消防長事務取扱(大月市長小俣治男氏)就任
	10月	消防団第2分団第1部(下初狩)、同第3部(神戸・立河原)の消防ポンプ自動車を更新 消防団第1分団第1部(白野)、同第5部(黒野田)及び第5分団第2部(大島)に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備
昭和57年度	4月	第4代消防長 落合岩男氏就任 消防職員5名採用(内1名事務職員、49名) 山梨県消防防災課へ職員1名派遣(1年間) 消防職員2名採用(内1名補充)小菅出張所に配属(50名、小菅出張所4名)
	8月	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、消防署の救急車を更新
	9月	消防団第3分団第2部(御太刀)の消防ポンプ自動車を更新 消防団第4分団第1部(浅利)、同第3部(岩殿)に小型動力ポンプ付積載車各1台を配備
	2月	大月ロータリークラブから指令車1台の寄付を受、消防署に配備
昭和58年度	4月	消防職員1名採用、丹波山出張所に配属(51名、丹波山出張所4名)
	7月	消防団第6分団第4部(久保)及び第8分団第3部(立野)に小型動力ポンプ台車付各1台を配備
	9月	消防団第6分団第6部(殿上)及び第7分団第4部(宮谷)の消防ポンプ自動車を更新
	10月	第5代消防長 岸野幾一氏就任
	12月	消防団第3分団第4部(下花咲)に消防ポンプ自動車1台を配備
昭和59年度	4月	消防職員2名採用(補充)
	8月	消防団第6分団第1部(猿橋)及び第8分団第2部(新倉・塩瀬)に小型動力ポンプ各1台を配備
	9月	消防団第6分団第7部(小田)に消防ポンプ自動車各1台を配備 第7分団第2部(下鳥沢)の消防ポンプ自動車を更新
	10月	消防署に昭和43年9月配備の化学消防ポンプ自動車を更新

	3月	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、小菅出張所の救急車を更新 日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、消防署の救急車を更新
昭和60年度	4月 11月 12月	第6代消防長 奥秋忠夫氏就任 大月市消防本部発足20周年記念式典挙行 消防本部旗を新調し樹立式を行う 発足20周年経過時の現有消防力 消防ポンプ自動車2台、梯子付消防ポンプ自動車1台、水槽付化学消防自動車1台、救急車3台、指令車3台、広報車1台、査察車1台、小型動力ポンプ付積載車1台 丹波山出張所 消防ポンプ車1台、救急車1台 小菅出張所 消防ポンプ車1台、救急車1台 消防団第4分団第8部（西奥山）及び第6分団第10部（幡野）に小型動力ポンプ付積載車を各1台配備 消防団第4分団第2部（強瀬）の消防ポンプ自動車を更新 丹波山出張所に配備の救急車を更新
昭和61年度	11月 12月 2月 3月	消防署の査察車（軽自動車）を更新 消防本部の消防長車及び消防署の小型動力ポンプ積載車を更新 消防団第7分団第3部（小向・袴着）の消防ポンプ自動車を更新 消防団第6分団第3部（小沢）の消防ポンプ自動車を更新
昭和62年度	4月 10月	消防職員1名採用（補充）（52名） 消防団第7分団第5部（中野・山谷）の消防ポンプ自動車を更新
昭和63年度	5月 6月 7月 10月 12月 2月 3月	消防署の指令車1台を更新 日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、消防署に配備 日本消防協会から指揮広報車の寄贈を受け、消防署に配備 消防団第3分団第8部（上真木）の小型動力ポンプ積載車を更新 消防団第3分団第10部（沢井）に小型動力ポンプ付積載車1台を配備 消防団第4分団第4部（下畑倉）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防本部（消防署）の庁舎改装 日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、消防署の救急車を更新 消防団第3分団第5部（上花咲）の消防ポンプ自動車を更新 消防署に救助工作車を配備（大月救助1） 消防職員異動及び、退職により46名に減
平成元年度	4月 9月 10月	第7代消防長 伊奈敏広氏就任 消防職員3名採用（49名） 消防団第5分団第6部（上和田）の消防ポンプ自動車を更新 第8代消防長佐藤功氏就任 小菅出張所の消防ポンプ自動車を更新（水槽付4WD）

平成2年度	4月	消防職員4名採用（内2名補充）（51名） 消防本部及び消防署の機構改革を行い、消防本部に消防課を新設、消防署に6係を置く
	10月	消防団第3分団第3部（大月）の消防ポンプ自動車を更新
	11月	消防団第5分団第5部（瀬戸・草木）・第10部（浅川）及び第11部（下瀬戸）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	3月	消防署の梯子車をオーバーホール
平成3年度	4月	第9代消防長 齊藤武男氏就任 消防職員3名採用（内1名補充）2名を丹波山出張所、小菅出張所に配属53名（各出張所5名） 緊急通報システム（ふれあいペンダント）運用開始
	10月	消防団第5分団第8部（井戸地・川津畑）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防団第8分団第2部（新倉・塩瀬）の小型動力ポンプを更新
平成4年度	4月	第10代消防長 梶本三千秋氏就任 消防職員3名採用（内1名補充）（55名）
	10月	消防団第5分団第9部（奈良子）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防団第4分団第3部（岩殿）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	11月	消防署の救急車を更新（イスズ4WD） 消防団第8分団第4部（下畑）の小型動力ポンプ付積載車を更新
平成5年度	4月	消防職員3名採用（58名）
	12月	消防署の消防ポンプ自動車を更新（大月ポンプ1）
	1月	消防団第8分団第3部（彦田・立野）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防団第1分団第6部（追分）・第6分団第1部（猿橋）及び第8分団第2部（新倉・塩瀬）の消防ポンプ自動車を更新
	3月	消防団第3分団第1部（駒橋）及び第5分団第1部（葛野）の消防ポンプ自動車を更新 消防署の指令車を更新（大月指揮1）
平成6年度	4月	第11代消防長 天野廣一氏就任 消防職員3名採用（内1名補充）（60名）
	10月	山梨県防災航空隊へ1名派遣（3年間）
	12月	消防団第1分団第4部（阿弥陀海）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	1月	阪神淡路大震災が発生、山梨県緊急消防援助隊として3次隊に巨り車両1台、3名を派遣
	3月	消防団第8分団第1部（綱の上）の小型動力ポンプ付積載車を更新 隣接する自衛隊大月募集事務所跡地購入
平成7年度	4月	第12代消防長 仁科 平氏就任 消防職員1名採用（補充、60名）
	6月	隣接する大月林務事務所職員寄宿舍跡地購入

	<p>9月 消防本部及び消防署庁舎建設基金条例制定</p> <p>11月 消防団第3分団第6部（下真木）消防ポンプ自動車を更新</p> <p>12月 消防職員定数条例の改正（62名を65名に改める） 高規格救急車購入に伴う車庫の増設 消防署の救急車を高規格救急車に更新（大月救急2） 消防署の指令車を更新（大月指揮2）</p> <p>1月 大月市消防本部発足30周年記念式典挙行 発足30周年経過時の現有消防力 消防ポンプ自動車2台、梯子付消防ポンプ自動車1台、水槽付化学消防自動車1台、救助工作車1台、救急車3台、指令車2台、査察車1台、指揮車1台、小型動力ポンプ付積載車1台、消防長車1台、広報車1台 丹波山出張所 消防ポンプ車1台、救急車1台 小菅出張所 消防ポンプ車1台、救急車1台</p> <p>3月 消防団第2分団第1部（下初狩）、同第3部（神戸・立河原）及び第3分団第8部（上真木）の消防ポンプ自動車を更新</p>
平成8年度	<p>4月 消防職員3名採用（63名） 消防本部の機構改革を行い、総務課を新設し2課制になる 山梨県消防防災課へ1名派遣（2年間） 高規格救急車運用開始</p> <p>12月 第13代消防長 矢頭善宗氏就任 消防署の消防ポンプ自動車を更新（大月ポンプ2） 消防団第4分団第5部（上畑倉）、同第7部（奥山）及び第5分団第7部（田無瀬）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防職員退職により2名減（61名）</p> <p>3月 消防本部の消防長車を更新（大月広報1）</p>
平成9年度	<p>12月 消防団第1分団第2部（原）、第5分団第4部（駒宮）、同第12部（林）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防団第6分団第5部（朝日小沢）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防団第5分団第3部（下和田）の消防ポンプ自動車を更新</p>
平成10年度	<p>4月 第14代消防長 奈良陸由氏就任 消防職員2名採用（63名） 大月市消防団団旗を更新</p> <p>6月 消防職員退職により1名減（62名）</p> <p>11月 消防団第3分団第2部（御太刀）及び第7分団第1部（上鳥沢）の消防ポンプ自動車を更新 消防団第1分団第1部（白野）、第5分団第2部（大島）及び第6分団第9部（田中）の小型動力ポンプ付積載車を更新</p>
平成11年度	<p>4月 第15代消防長 小田彰氏就任 消防職員2名採用（64名）</p> <p>10月 消防職員退職により1名減（63名）</p> <p>11月 消防団第6分団第6部（殿上）の消防ポンプ自動車を更新</p> <p>12月 消防職員退職により1名減（62名）</p> <p>1月 消防職員退職により1名減（61名）</p>

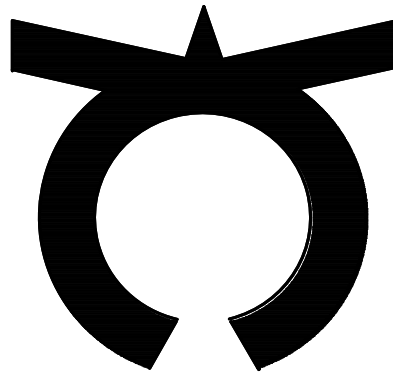
	3月	消防団第1分団第5部（黒野田）、第2分団第4部（側子）、及び第6分団第2部（小倉）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防署の救急車を更新（大月救急3）
平成12年度	4月	第16代消防長 天野公男氏就任 消防職員2名採用（63名）
	5月	消防職員退職により1名減（62名）
	6月	山梨県遊技業協同組合から査察車1台の寄贈を受け、消防署に配備（大月査察2）
	12月	消防団第3分団第4部（下花咲）及び第7分団第4部（宮谷）の消防ポンプ自動車を更新 消防団第4分団第1部（浅利）及び第4分団第3部（岩殿）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	2月	日本消防協会「表彰旗」を受彰（大月市消防団）
平成13年度	4月	第17代消防長 佐藤敏雄氏就任 消防職員2名採用（64名） 消防本部各課及び署の係りを担当制に変更
	10月	消防団第4分団第2分（強瀬）及び第7分団第2部（下鳥沢）の消防ポンプ車を更新
	12月	消防団第2分団第2部（藤沢）及び第4分団第6部（日影）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	1月	消防職員死亡退職により1名減（63名）
	3月	消防庁長官「表彰旗」を受彰（大月市消防本部・消防団） 消防職員定年退職により2名減（61名）
平成14年度	4月	第18代消防長 久根口潔氏就任 消防職員2名採用（63名） 大月市消防本部上野原町消防本部による人事交流開始（1名）
	12月	消防団第3分団第9部（間明野）及び第6分団第8部（小篠）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	2月	消防署の救急車を更新（大月救急1）
	3月	消防団第6分団第7部（小田）の消防ポンプ自動車を更新 消防本部の消防緊急通信指令施設を更新 消防職員定年退職により2名減（61名） 丹波山出張所職員退職により1名減（60名）
平成15年度	4月	第19代消防長 奈良昭則氏就任 消防職員1名採用（61名） 通信担当が消防課に移行し、専従となる 消防職員退職により1名減（60名） 上野原町消防本部人事交流（2名）
	5月	丹波山出張所職員1名採用（61名）
	9月	消防団第6分団第3部（小沢）の消防ポンプ車を更新
	1月	消防署の積載車を更新（大月積載1） 消防団第4分団第8部（西奥山）及び第6分団第10部（幡野）の小型動力ポンプ付積載車を更新
	3月	消防職員退職により2名減（59名）
平成16年度	4月	第20代消防長 池川 元氏就任

	<p>消防職員2名採用（61名） 山梨県防災航空隊へ1名派遣（3年間） 上野原町消防本部人事交流（2名）</p> <p>9月 10月 12月 2月 3月</p> <p>消防団第7分団第5部（中野・山谷）の消防ポンプ車を更新 総務省消防庁からの緊急消防援助隊応援出動要請により新潟県中越地震に車両2台、4名を派遣 消防署の化学消防ポンプ自動車を更新（大月化学1） 消防団第1分団第3部（吉久保）及び第3分団第10部（沢井）の小型動力ポンプ付積載車を更新 消防職員退職により1名減（60名）</p>
平成17年度	<p>4月 10月 3月</p> <p>第21代消防長 佐々木敬介氏就任 上野原市消防本部人事交流（1名） 大月市消防団条例改正により大月市消防団定員数の変更及び部統合による再編がされる（定員1,020人から950人） 第1分団6部体制から2部、第3分団10部体制から4部、第6分団12部体制から6部 8分団45部体制 大月市役所総務課内防災対策室の新設に伴い消防職員1名出向 大月市消防団条例改正により大月市消防団定員数の変更がされる（定員950人から900人） 大月市消防職員定年退職により3名減（57名） 大月市消防職員及び丹波山出張所職員退職により3名減（57名） 消防団7分団3部（小向、袴着）の消防ポンプ車を更新</p>
平成18年度	<p>4月 7月</p> <p>第22代消防長 富田祐造氏就任 消防職員1名採用（58名） 上野原市消防本部人事交流（1名） 消防本部機構改革により2課5担当を消防課に統合し1課3担当となる 消防団部統合による再編がされる 第2分団4部体制から2部、第5分団12部体制から6部 8分団37部体制 消防署の査察車を更新（大月査察1）</p>
平成19年度	<p>4月</p> <p>第23代消防長 遠山利徳氏就任 消防職員3名採用（61名） 上野原市消防本部人事交流（1名）</p>
平成20年度	<p>4月</p> <p>消防団員（基本団員）を補助する消防団協力団員制度を新設 消防本部機構改革により消防課に予防担当が設置される 消防課通信担当が消防署に移行する 消防署勤務体制が3部制となる 上野原市消防本部人事交流（1名） 消防職員退職により2名減（59名）</p>
平成21年度	<p>4月</p> <p>第24代消防長 内野 勝氏就任 大月市、上野原市、都留市3消防本部による人事交流開始（1名）</p>

		大月市⇒上野原市 上野原市⇒都留市 都留市⇒大月市 消防職員2名採用（61名） 9月 消防職員退職により2名減（59名） 11月 山梨県消防広域推進協議会事務局派遣（1名） 消防署の高規格救急車を更新（大月救急2） 12月 社団法人日本損害保険協会関東支部から高規格救急車1台の寄贈を受け、小菅出張所の救急車を更新（小菅2） 消防職員退職により1名減（58名）
平成22年度	4月	第25代消防長 加藤 光三氏就任 大月市、上野原市、都留市消防本部による人事交流（1名） 大月市⇒都留市 上野原市⇒大月市 都留市⇒上野原市 丹波山出張所の救急車を更新（丹波2） 5月 消防本部及び消防署を大月市大月町花咲1608番19号に移転（旧北都留合同庁舎） 3月 消防職員退職により1名減（57名）
平成23年度	4月	消防職員3名採用（60名）内1名は丹波山出張所に配属

総務

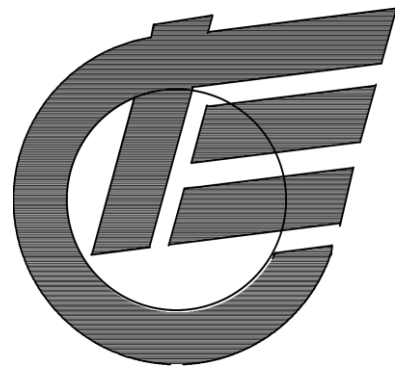
大月市章



小菅村章



丹波山村章



所在地

大月市消防本部

大月市消防署

小菅出張所

丹波山出張所

大月市大月町花咲1608番地19

同 上

北都留郡小菅村4667番地

北都留郡丹波山村890番地

TEL : 0554-22-0119

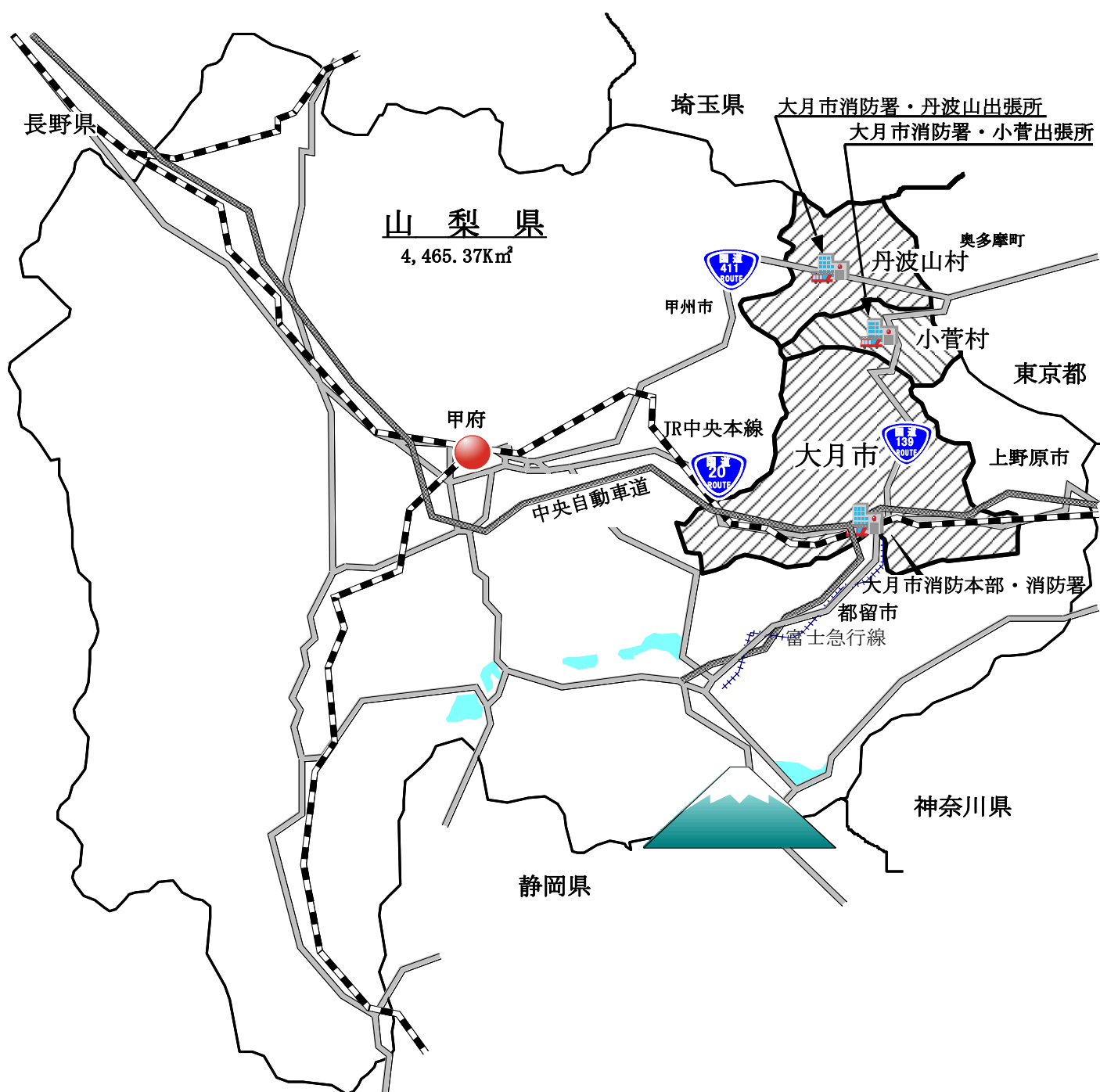
同 上

TEL : 0428-87-0422

TEL : 0428-88-0990

管内の面積及び人口・世帯

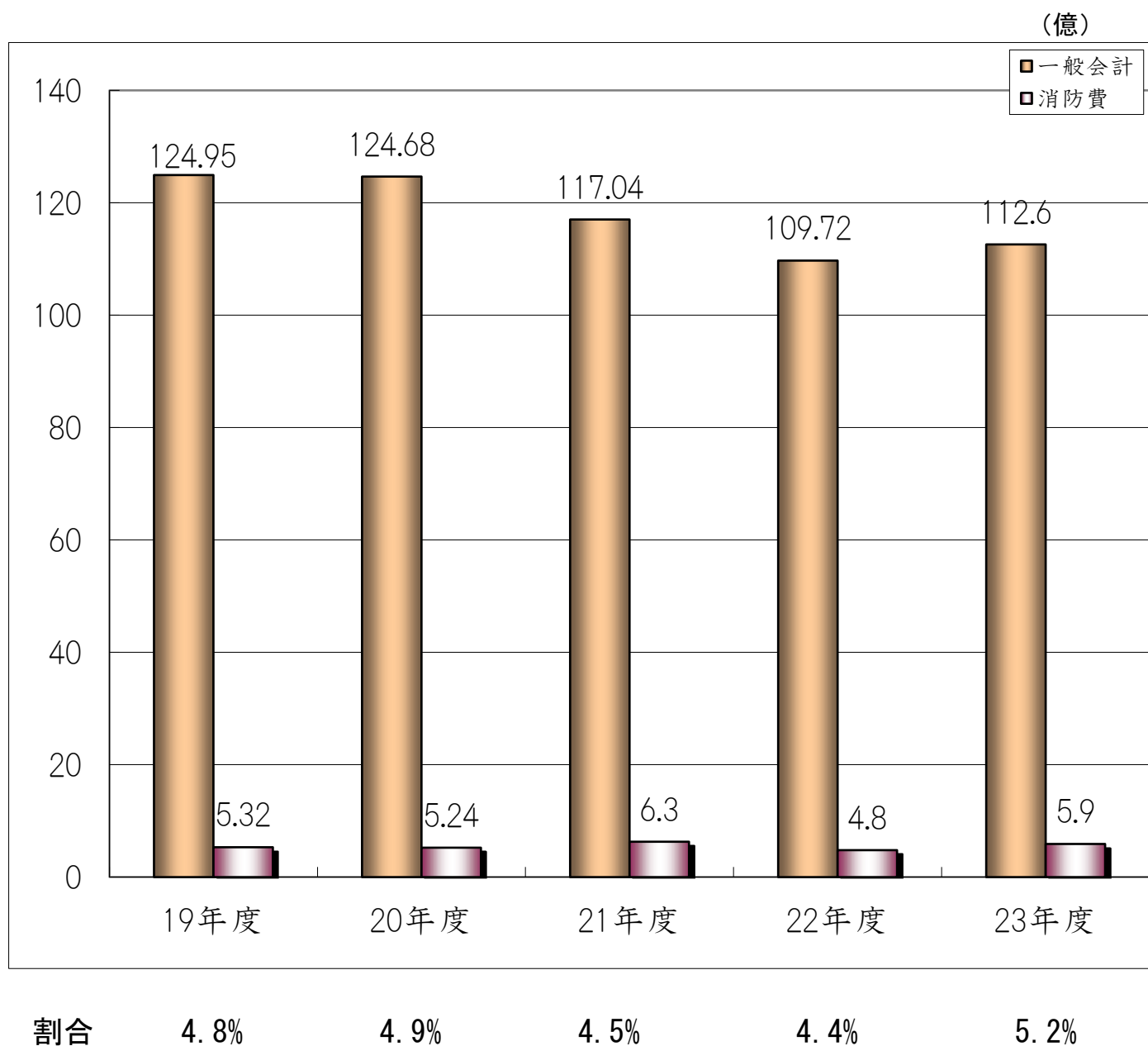
種別	面積 (k㎡)	世帯数	人口(人)
市町村			
大月市	280.30	10,664	28,326
小菅村	52.65	343	815
丹波山村	101.55	327	691
合計	434.50	11,334	29,832



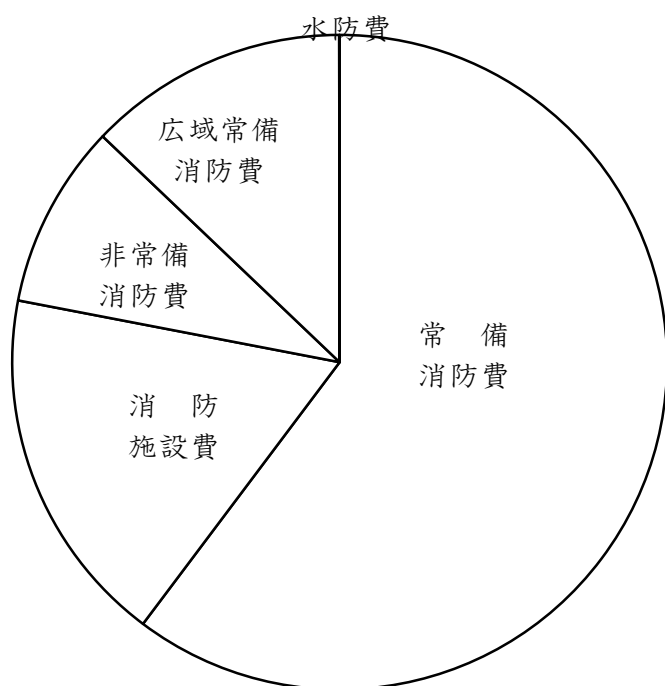
一般会計予算と消防予算の割合（当初）

区 分 年 度	予算額（百万円）		割 合		
	一般会計	消防費	一般会計予算額 に対する消防費 の割合%	人口一人当たり の消防費（円）	1世帯当たり の消防費（円）
平成22年度	10,972	484	4.40	15,901	42,458
平成23年度	11,260	591	5.20	19,818	52,162

過去5年間の市一般会計予算と消防費の比較



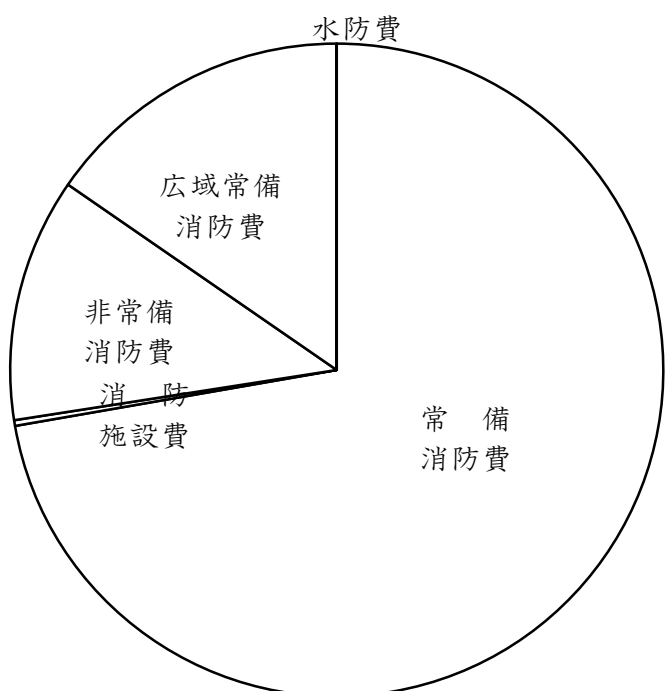
平成23年度消防費当初予算目構成



(千円)

予算目	予算費	%
常備消防費	356,219	60.3%
消防施設費	105,061	17.8%
非常備消防費	53,782	9.1%
広域常備消防費	76,019	12.9%
水防費	123	0.0%
合計	591,204	100%

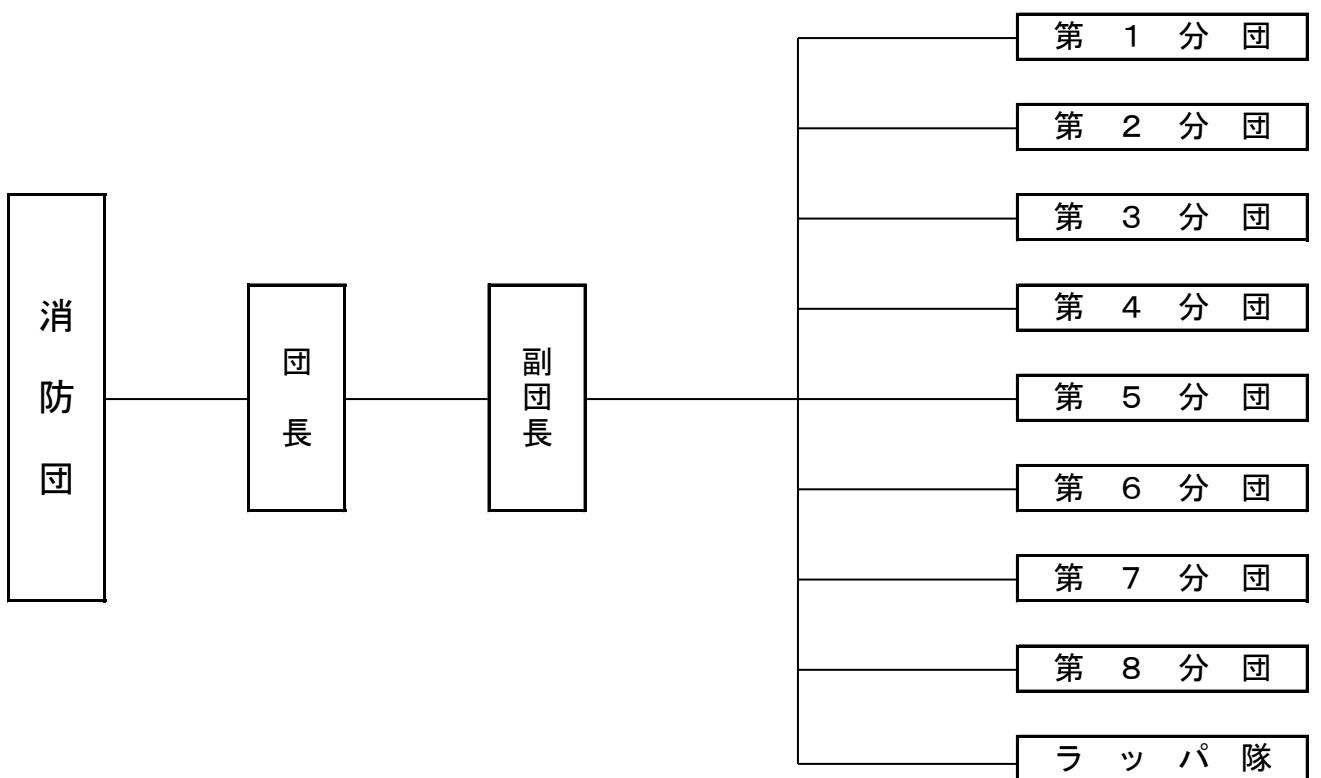
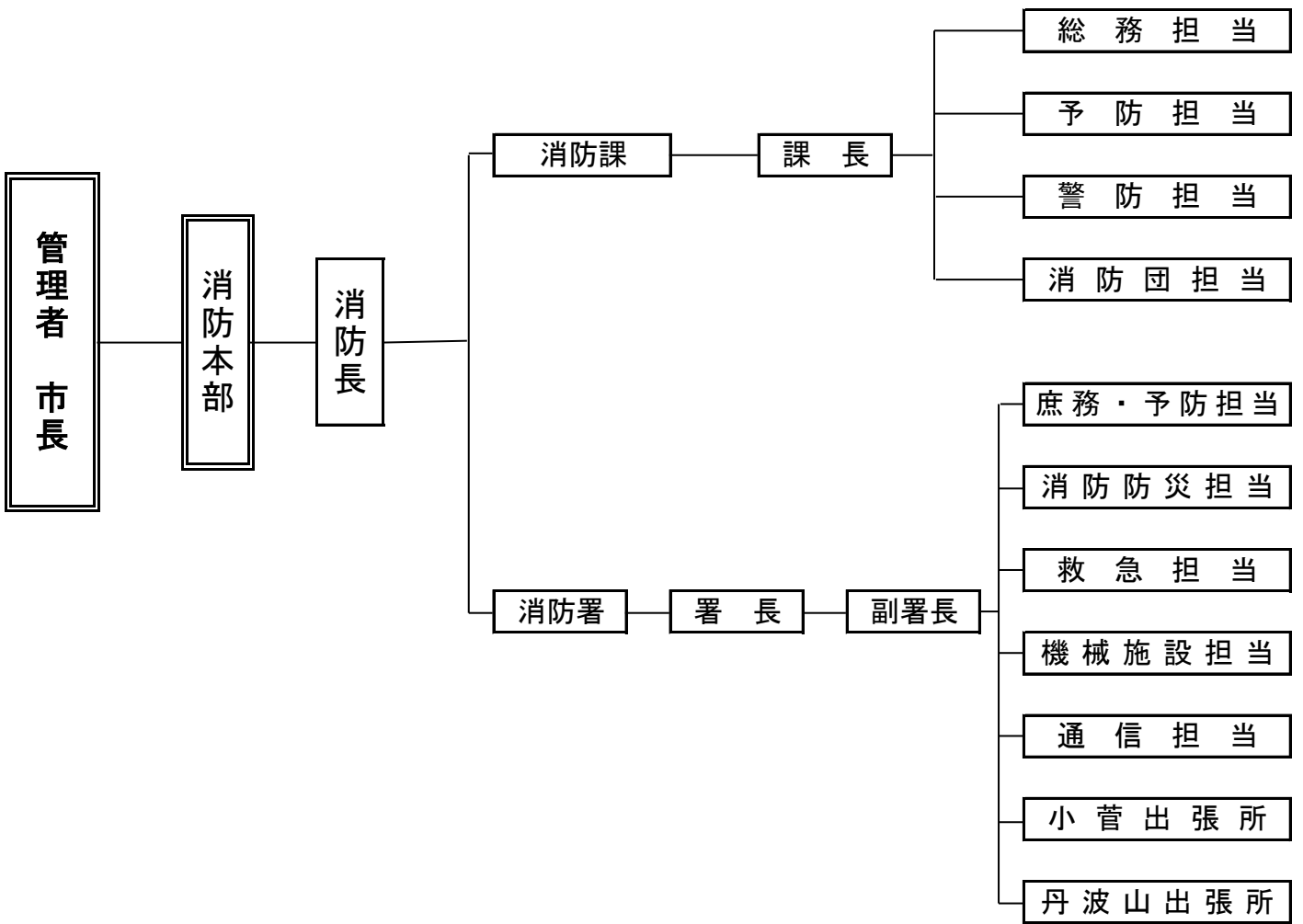
平成22年度消防費当初予算目構成



(千円)

予算目	予算費	%
常備消防費	349,994	72.3%
消防施設費	1,365	0.3%
非常備消防費	58,498	12.1%
広域常備消防費	74,439	15.4%
水防費	69	0.0%
合計	484,365	100%

消 防 組 織



消防本部・署の現勢力

消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
2	12 (1)	15	16	7	8	60 (1)

() は事務吏員

(車 両)

大月市消防署

消 防 ポ ン プ 車	2	台	査 察 車	2	台
は し ご 車	1	台	原 因 調 査 車	1	台
化 学 車	1	台	広 報 車	1	台
救 助 工 作 車	1	台	高 規 格 救 急 車	2	台
積 載 車	1	台	救 急 車	1	台
指 揮 車	1	台			

小菅出張所

消 防 ポ ン プ 車	1	台	高 規 格 救 急 車	1	台
-------------	---	---	-------------	---	---

丹波山出張所

消 防 ポ ン プ 車	1	台	高 規 格 救 急 車	1	台
-------------	---	---	-------------	---	---

消防職員定数・実数及び配置状況

職 課 名		階 級	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計	
消防本部	消 防 長	消防長	1						1	
消防課	消 防 課	課長		1					1	
	総務担当	リーダー		1 (1)					1 (1)	
		主査			1				1	
		主任				1			1	
	消防団担当	リーダー		1					1	
	警防担当	リーダー		1					1	
	予防担当	リーダー		1					1	
		主任				1			1	
広域事務局	出向				1			1		
県消防学校	入校						3	3		
消防署	本 署	署長	1						1	
		副署長		1					1	
	1 部 担 当	当直司令		1					1	
	2 部 担 当	当直司令		1					1	
	3 部 担 当	当直司令		1					1	
	庶務予防担当	リーダー			1					1
		主査			1					1
		主任				1				1
		主事 担当				1	2		2	3
	消防防災担当	リーダー			1					1
		主査			2					2
		主事				1	2			3
	救急担当	リーダー			1					1
		主査			2					2
		主任				4				4
		主事				1	1			2
	機械施設担当	リーダー			1					1
		主任				2				2
		主事					1			1
		担当						2		2
	通信担当	リーダー			1					1
		主任				1				1
		主事				1				1
	小菅出張所	出張所長		1						1
		主幹		1						1
		主査			2					2
		主任			1					1
丹波山出張所	出張所長		1						1	
	主査			1					1	
	主任				1				1	
	担当					1	1		2	
合 計			2	12 (1)	15	16	7	8	60 (1)	

() は事務吏員

消防職員階級別年齢

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳						3	3
22歳						1	1
23歳							
24歳						1	1
25歳							
26歳						1	1
27歳					1		1
28歳					1		1
29歳					1		1
30歳					2		2
31歳				1	2		3
32歳							
33歳				2			2
34歳				1			1
35歳				3			3
36歳				2			2
37歳				2			2
38歳							
39歳				5			5
40歳							
41歳			2				2
42歳							
43歳			1				1
44歳							
45歳							
46歳			3				3
47歳			2				2
48歳							
49歳			2				2
50歳			2				2
51歳		1	3				4
52歳		3(1)					3(1)
53歳							
54歳		2					2
55歳		2					2
56歳		1					1
57歳		1					1
58歳		1					1
59歳	2	1					3
計	2	12(1)	15	16	7	8	60(1)
平均年齢	59	54.6	47.2	36.1	29.4	21.8	40.6

消防職員勤続年数

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
0年		1(1)				3	4(1)
1年	1						1
2年						2	2
3年							
4年						2	2
5年						1	1
6年							
7年						3	3
8年						1	1
9年				1	1		2
10年				1	1		2
11年				1	1		2
12年							
13年				2			2
14年							
15年							
16年				1			1
17年				2			2
18年			1	2			3
19年			1	2			3
20年			1	1			2
21年			1	3			4
22年			1				1
23年							
24年							
25年							
26年							
27年			2				2
28年			3				3
29年			3				3
30年							
31年		1					1
32年							
33年		1	2				3
34年		2					2
35年		1					1
36年		3					3
37年		1					1
38年							
39年		2					2
40年							
41年	1						1
計	2	12(1)	15	16	7	8	60(1)

() は事務吏員

消防職員実員累年比較

階 級 年 度	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
昭和41年度				1	2		14		17
昭和42年度				1	2		17		20
昭和43年度			1	1	2		16		20
昭和44年度			1	1	3		18		23
昭和45年度			1	2	5		17		25
昭和46年度			1	2	8		15		26
昭和47年度			1	3	7		16		27
昭和48年度		1	1	4	7		15		28
昭和49年度		1	1	4	9		15		30
昭和50年度		1	1	4	9		19		34
昭和51年度		1	1	4	9		19		34
昭和52年度		1	1	4	9		23		38
昭和53年度	1	1	1	4	9	6	23		45
昭和54年度	1	1	3	2	9	6	22		44
昭和55年度	1	1	2	2	9	10	19	1	45
昭和56年度		1	2	2	9	14	15	1	44
昭和57年度	1	1	1	2	13	10	20	1	49
昭和58年度	1	1	3	5	9	14	16	1	50
昭和59年度	1	1	3	8	9	12	16	2	52
昭和60年度	1	1	3	12	7	10	16	1	51
昭和61年度	1	1	3	12	7	10	16	1	51
昭和62年度	1	1	3	12	11	15	8	1	52
昭和63年度	1	1	4	9	17	11	5		48
平成元年度	1	2	4	11	18	9	6		51
平成2年度	1	1	8	9	17	8	8		52
平成3年度	1	2	7	11	18	6	10		55
平成4年度	1	2	10	9	20	3	13		58
平成5年度	1	3	9	9	20	3	13		58
平成6年度	1	3	9	9	22	1	15		60
平成7年度	1	2	9	10	21	2	15		60
平成8年度	1	4	8	11	20	2	17		63

年度 \ 階 級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
平成 9 年度	1	4	8	15	17	4	12		61
平成 10 年度	1	4	9	16	15	5	13		63
平成 11 年度	1	4	11	15	14	8	11		64
平成 12 年度	1	4	12	15	13	10	8		63
平成 13 年度	1	6	11	14	17	9	6		64
平成 14 年度	1	6	12	14	14 ①	10	7		64 ①
平成 15 年度	1	6	13	14 ②	15	7	7		63 ②
平成 16 年度	1	4	14	16 ②	13	6	9		63 ②
平成 17 年度	1	5	16	14 ①	15	4	8		63 ①
平成 18 年度	1	3	14	13 ①	16	6	6		59 ①
平成 19 年度	1	2	13 ①	13	16	8	7		60 ①
平成 20 年度	1	2	12	16	15 ①	7	6		59 ①
平成 21 年度		2	12	16	15 ①	7	8		60 ①
平成 22 年度		1	12	16 ①	14	7	6		56 ①
平成 23 年度		2	12	15	16	7	8	1	60

○は人事交流

消防職員各種資格免許取得状況

種 別		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
自動車 運転免許	I種大型	1	7	9	13	6	1	37	
	I種大型特殊				2			2	
	II種大型		1					1	
	I種中型	2	12	15	16	7	3	55	
	I種普通						5	5	
危険物 取扱者 免許	甲種				1			1	
	乙種1類			1	1		1	3	
	乙種2類			1	1			2	
	乙種3類			1	1		1	3	
	乙種4類		2	3	1		1	7	
	乙種5類			1	1		1	3	
	乙種6類			1	1		1	3	
消防設備 士免許	甲種		1					1	
	乙種		1	2				3	
玉掛技能講習			2	3	9	3		17	
小型移動式クレーン			1	3	9	3		16	
移動式クレーン			1	0				1	
船舶免許2級			2	1	3	2		8	
救急救命士			2	6	6	1		15	
潜水士						1		1	
ガス溶接技能			1	3	1	1	1	7	
アーク溶接				1			1	2	
ボイラー技士				3	1	1	1	6	
第一級陸上特殊無線技士			1		1			2	
第二級陸上特殊無線技士		1	11	15	16	7	5	55	
高圧ガス製造保安責任免状			1					1	
特定化学物質作業主					1			1	
酸素欠乏硫化水素危険作業主任者						1		1	
予防技術資格者(附則第2項認定)			2	2	1			5	
予防技術資格者(防火査察)					2			2	
予防技術資格者(消防設備等)					1			1	
予防技術資格者(危険物)					2			2	

予 防



用途別防火対象物

平成23年3月31日現在

政 令 別表第1項別		区 分	法第17条の防火対象物				法第8条の防火対象物			
			大月市	小菅村	丹波山村	合 計	大月市	小菅村	丹波山村	合 計
1	イ	映画館、観覧場	4			4	4			4
	ロ	公会堂、集会場	40	2	4	46	40	2	7	49
2	イ	キャバレー、バー類		1		1				
	ロ	遊技場又はダンスホール	1			1	1			1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	1			1	1			1
3	イ	待合、料理店類	5			5	5			5
	ロ	飲食店	17	2	2	21	17	1	1	19
4		百貨店、物品販売業、展示場	22	3		25	18	3	1	22
5	イ	旅館、ホテル	21	20	12	53	18	20	14	52
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	119	2	4	125	23			23
6	イ	病院、診療所	15	1	1	17	3			3
	ロ	老人福祉施設等	4		2	6	4			4
	ハ	老人デイサービスセンター等	15	2	1	18	12	2	1	15
	ニ	幼稚園、特別支援学校	14			14	5			5
7		小・中・高・大学校・各種学校	43	6	4	53	21	3		24
8		図書館、美術館等	2			2	2			2
9	イ	蒸気、熱気浴場類								
	ロ	一般公衆浴場	2		1	3	1		1	2
10		停車場	6			6				
11		神社、寺院、教会類	42			42	10			10
12	イ	工場、作業場	114	20	1	135	29	1		30
	ロ	映画スタジオ	1			1				
13		自動車車庫、駐車場	8	2		10				
14		倉庫	27			27				
15		前各項に該当しない事業所	104	5	3	112	14	2	1	17
16	イ	複合用途（特定）	46	1		47	10			10
	ロ	複合用途（その他）	20	1		21				
17		重要文化財	1			1	1			1
合 計			694	68	35	797	239	34	26	299

注) 法第17条の防火対象物

延べ面積150㎡以上の対象物

法第8条の防火対象物

防火管理者を選任しなければならない対象物

消 防 用 設 備 の 設 置 状 況

平成23年3月31日現在

政令別表 第1項別		設備区分	ス プ リ ン ク ラ ー	屋 内 消 火 栓 設 備	不 活 性 ガ ス ・ 水 粉 噴 霧	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	誘 導 灯	火 災 報 知 設 備 に 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具
1	イ	映画館、観覧場					2	4		2	
	ロ	公会堂、集会場					13	43	2	32	1
2	イ	キャバレー、バー類									
	ロ	遊技場又はダンスホール			1		1	1		1	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等					1	1		1	
3	イ	待合、料理店類					5	5			3
	ロ	飲食店					8	20		4	
4		百貨店、物品販売業展示場	1	2	1		12	24		11	1
5	イ	旅館、ホテル		5			34	52	6	20	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		1			5	4		11	36
6	イ	病院、診療所	1	1	1		13	15	1	3	2
	ロ	老人福祉施設等	3	2			4	6	5	3	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	1			11	11	2	6	3
	ニ	幼稚園、特別支援学校		10			14	13		10	3
7		小・中・高・大学校・各種学校		24			45	25	1	6	1
8		図書館、美術館等		1			2	2		1	1
9	イ	蒸気、熱気浴場類									
	ロ	一般公衆浴場		1			1	1			
10		停車場					1				
11		神社、寺院、教会類					3	2	1		
12	イ	工場、作業場		11	2	4	54	21		4	
	ロ	映画スタジオ									
13		自動車車庫、駐車場			1		1				
14		倉庫					7				
15		前各項に該当しない事業所		12	6	1	54	43		13	1
16	イ	複合用途（特定）					8	18		9	2
	ロ	複合用途（その他）					1			1	
17		重要文化財				1	2				
合 計			6	71	12	6	302	311	18	138	58

各種届出・検査・許可等処理状況

平成23年3月31日現在

内 容		年度別件数			
		19年度	20年度	21年度	22年度
届 出	消防用設備等工事着工届	7	6	13	4
	消防用設備等設置届（150㎡以上の任意届出を含む）	54	34	64	40
	防火管理者選任又は解任届	33	13	46	25
	防火対象物使用開始届	19	13	24	19
	消防計画作成又は変更届	47	28	37	41
	消防用設備等点検結果報告書	117	94	98	100
	変電・発電・蓄電池設備設置届	23	11	29	8
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱届			2	1
	指定数量未満の危険物貯蔵又は取り扱いの届	7	6	4	6
	液化石油ガス配管工事届			2	
	ボイラー又は給湯湯沸設備設置届	5	3	1	4
検 査 等	防火対象物立入検査	82	64	80	63
	旅館営業許可に伴う検査	2	1	3	1
	風俗営業許可に伴う証明書交付申請書検査				
	液化石油ガス販売事業許可に伴う意見書交付申請検査				
	電気用品販売事業者立入検査	10	4	5	4
	火薬類消費場所等に対する立入検査	8	1		1
	消防用設備等設置届に伴う検査 （150㎡以上の任意届出を含む）	20	3	15	12
防火対象物使用開始届に伴う検査	17	10	18	18	
許 可	火薬類譲受・消費許可	10	9	6	7

防火対象物査察実施状況

平成23年3月31日現在

政令別表 第1項別		区分	22									23			合 計
			年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年 1 月	2 月	3 月	
1	イ	映画館、観覧場									2				2
	ロ	公会堂、集会場													
2	イ	キャバレー、バー類													
	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等													
	ニ	カラオケボックス等								1					1
3	イ	待合、料理店類													
	ロ	飲食店													
4		百貨店、物品販売業、展示場								3					3
5	イ	旅館、ホテル								19		18	11		48
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅								1					1
6	イ	病院、診療所													
	ロ	老人福祉施設等								1					1
	ハ	老人デイサービスセンター等								1					1
	ニ	幼稚園、特別支援学校													
7		小・中・高・大学校・各種学校													
8		図書館、美術館等													
9	イ	蒸気、熱気浴場類													
	ロ	一般公衆浴場													
10		停車場													
11		神社、寺院、教会類													
12	イ	工場、作業場													
	ロ	映画スタジオ													
13		自動車車庫、駐車場													
14		倉庫													
15		前各項に該当しない事業所								5					5
16	イ	複合用途（特定）													
	ロ	複合用途（その他）													
17		重要文化財									1				1
		危険物施設			12					1	6		2	18	39
		合 計			12					1	39	1	20	29	102

防火対象物定期点検対象物及び特例対象物の状況

平成23年3月31日現在

用途別 交付別	平成20年度				平成21年度				平成22年度			
	対象物	定期点検報告	特例適用	定期点検報告率	対象物	定期点検報告	特例適用	定期点検報告率	対象物	定期点検報告	特例適用	定期点検報告率
1項イ	1	1		100%	1	1		100%	1	1		100%
1項ロ	1	1		100%	1	1		100%	1	1		100%
4項ロ	2		1	50%	2		1	50%	2	1	1	100%
6項イ	1	1		100%	1	1		100%	1	1		100%
6項ハ	1	1		100%	1	1		100%	1	1		100%
合計	6	4	1	83%	6	4	1	83%	6	5	1	100%

防 火 管 理

防火管理とは、消防法第8条に規定された防火管理者の責務です。火災等の災害を未然に防止し、かつ、万一火災が発生した場合でもその被害を最小限に食い止めるため、必要な万全の対策を樹立する事を防火管理者の方は日頃から実践しなければなりません。

当消防本部では、防火管理に関する資格付与講習会を昭和48年から延べ9回実施し、現在542名の方が資格を取得されています。

1. 防火管理に関する講習会終了証交付状況

平成23年3月31日現在

性別 年別	性別		計
	男	女	
昭和48年度	77	6	83
昭和51年度	32	20	52
昭和53年度	67	10	77
昭和55年度	60	8	68
昭和58年度	66	9	75
昭和61年度	60	2	62
平成17年度	48	2	50
平成19年度	20	3	23
平成21年度	41	11	52
合 計	471	71	542

2. 防火管理者選任届状況

平成23年3月31日現在

	必要対象物		選 任	選任率 (%)
	必要対象物	選 任		
大月市消防署	237	230	97	
小菅出張所	35	35	100	
丹波山出張所	26	26	100	
合 計	298	291	98	

建築同意事務処理状況

平成23年3月31日現在

要旨 月	新 築		増 築		改 築		用途変更		その他		合 計
	指 導		指 導		指 導		指 導		指 導		
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	
4	1										1
5	1										1
6	1										1
7	3										3
8	3										3
9	2										2
10	2										2
11											
12	1										1
1	1										1
2											
3											
合計	15										15

規模・構造別建築同意件数

平成23年3月31日現在

種別 件数・構造			新築			増築			同意件数合計	
			件数	構造		件数	構造			
規模・件数				RC	S		W	RC	S	W
延べ面積 300㎡ 未満	1階	地階有	5	1	4				5	
		地階無								
	2階	地階有	5	5					5	
		地階無								
	3階	地階有								
		地階無								
	4階 以上	地階有	1	1					1	
		地階無								
延べ面積 300㎡ 以上 500㎡ 未満	1階	地階有								
		地階無								
	2階	地階有								
		地階無								
	3階	地階有								
		地階無								
	4階 以上	地階有	1	1					1	
		地階無								
延べ面積 500㎡ 以上 1,000㎡ 未満	1階	地階有								
		地階無								
	2階	地階有	1	1					1	
		地階無								
	3階	地階有								
		地階無								
	4階 以上	地階有								
		地階無								
延べ面積 1,000㎡ 以上	1階	地階有	2		2				2	
		地階無								
	2階	地階有								
		地階無								
	3階	地階有								
		地階無								
	4階 以上	地階有								
		地階無								
同意件数合計			15		9	6				15

危険物規制事務

経済状況の後退と、世界的な政情不安により危険物を取りまく環境も様変わりしてきています。市民のニーズにこたえ、効果的かつ効率的な行政指導を実施し、危険物による災害を一つでも減らすことができるよう「安全、安心」な街づくりに努めています。

数量別危険物施設の現況

平成23年3月31日現在

貯蔵所等の別 (区分)		数 量 (倍数)							合 計				
		5 倍未満	5 倍以上	10 倍未満	10 倍以上	50 倍未満	50 倍以上	100 倍未満		100 倍以上	150 倍未満	150 倍以上	200 倍以上
貯蔵所	屋内貯蔵所	9	2	1									12
	屋外タンク貯蔵所	3		6									9
	屋内タンク貯蔵所	2	1										3
	地下タンク貯蔵所	30	9	7									46
	移動タンク貯蔵所	18											18
	屋外貯蔵所												
取扱所	給油取扱所					14	5	2	2				23
	自家用給油取扱所	1	3	4									8
	一般取扱所	5	2	3									10
	詰替一般取扱所		4	2									6
合 計		68	21	23	14	5	2	2					135

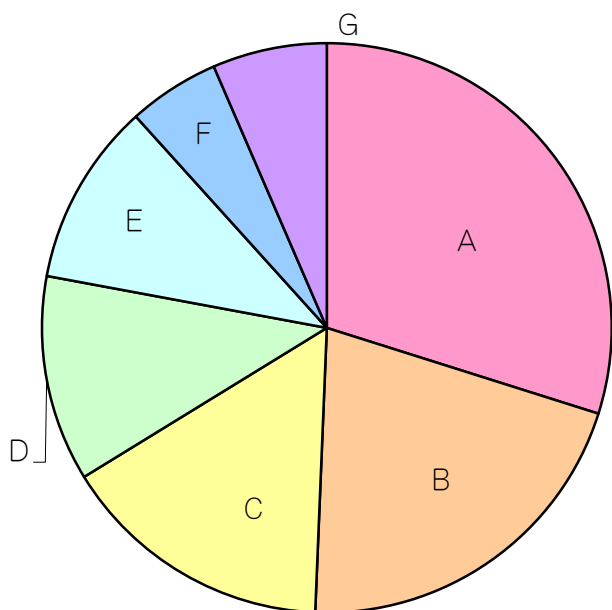
地 区 別 危 険 物 施 設 数

平成23年3月31日現在

数 量												
		笹子町	初狩町	大月町	賑岡町	七保町	猿橋町	富浜町	梁川町	小菅村	丹波山村	合 計
貯蔵所等の別 (区分)												
貯蔵所	屋内貯蔵所	2	1	3	2		2	2				12
	屋外タンク貯蔵所			4			2	1		2		9
	屋内タンク貯蔵所			2				1				3
	地下タンク貯蔵所	6	2	13	5	4	2	8	1	3	2	46
	移動タンク貯蔵所	2	2	4		2	5	1		2		18
	屋外貯蔵所											
取扱所	給油取扱所	1	1	9	1	3	3	2		1	2	23
	自家用給油取扱所		1	2	1	1	2	1				8
	一般取扱所		2	3	2	1		1	1			10
	詰替一般取扱所		1	2		3						6
合 計		11	10	42	11	14	16	17	2	8	4	135

業態別危険物施設数

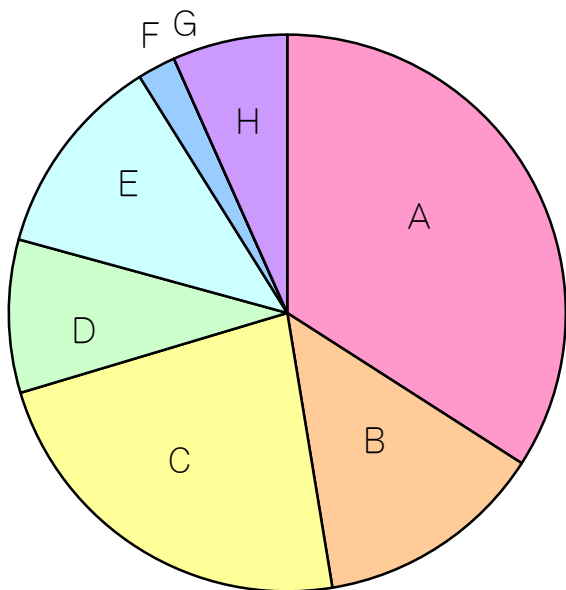
平成23年3月31日現在



施設	数	%
A 給油取扱所	23	29.87%
B 工場・作業場	16	20.78%
C 事業所等	12	15.58%
D 学校・公共施設等	9	11.69%
E 病院・福祉施設等	8	10.39%
F 飲食店・小売店舗	4	5.19%
G ホテル・旅館等	5	6.49%
合計	77	100.00%

区分別危険物施設数

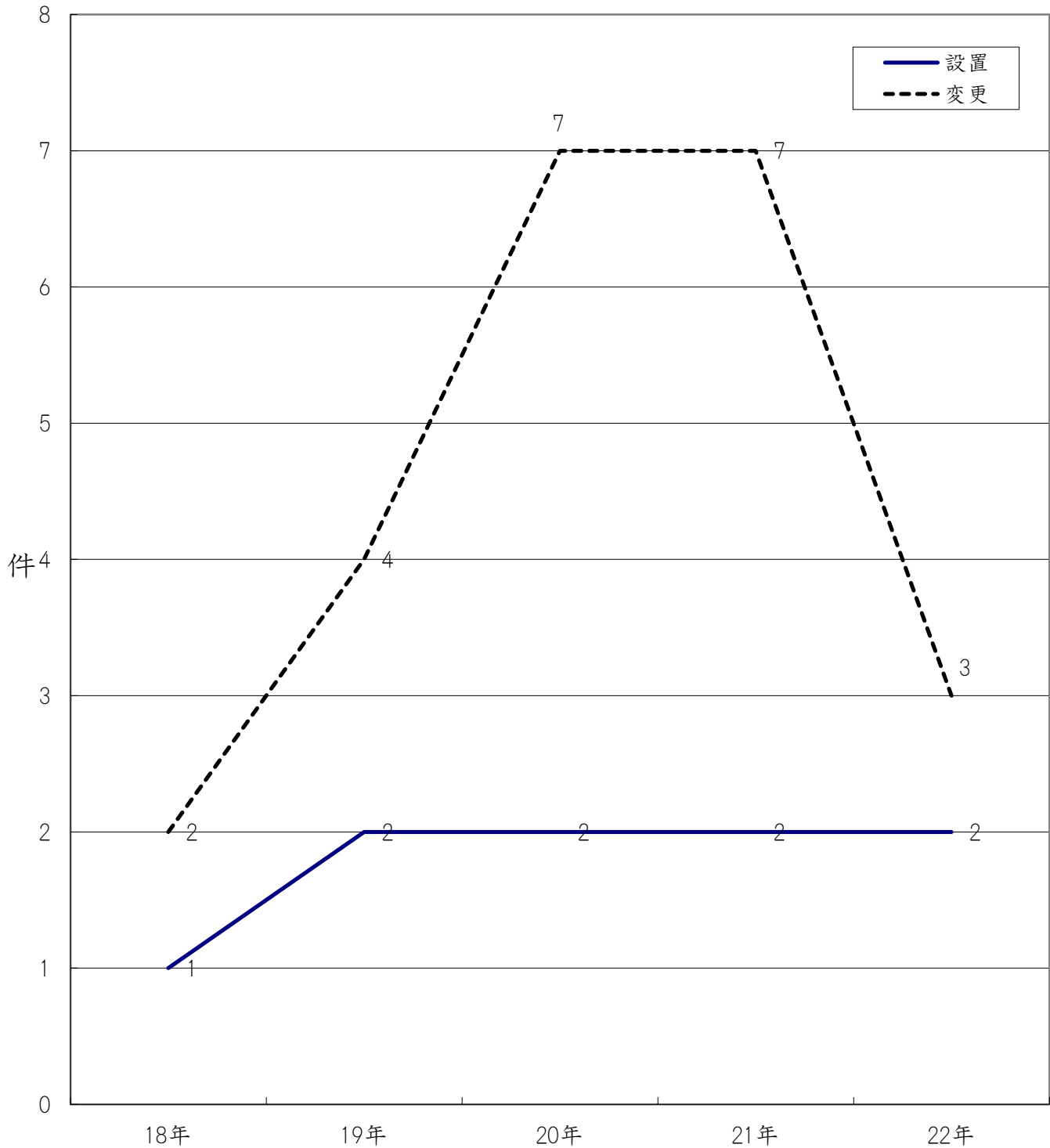
平成23年3月31日現在



施設	数	%
A 地下タンク貯蔵所	46	34.07%
B 移動タンク貯蔵所	18	13.33%
C 給油取扱所	31	22.96%
D 屋内貯蔵所	12	8.89%
E 一般取扱所	16	11.85%
F 屋内タンク貯蔵所	3	2.22%
G 屋外貯蔵所	0	0.00%
H 屋外タンク貯蔵所	9	6.67%
合計	135	100.00%

過去5年間の危険物施設完成検査状況

平成23年3月31日現在



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
施設設置許可に係る完成検査	1	2	2	2	2
施設変更許可に係る完成検査	2	4	7	7	3

予防技術資格者の認定状況

消防本部・署所において、火災の予防に関する業務等を的確に行うため、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有するものとして消防庁長官が定める資格を有する「予防技術資格者」を一人以上配置するものとされています。（消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件（平成17年10月18日消防庁告示第13号））

この規定に基づき大月市消防本部では、「大月市予防技術資格者の認定等に関する規定」を定め、予防技術資格者の育成及び認定に積極的に取り組んでいます。

表内の数字は延べ人数とする。（人）

平成23年3月31日現在

階級別 資格者種別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
「消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」の附則第4項第1号に定める資格者		1	1	1			3
「消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」の附則第4項第2号に定める資格者		1	1				2
「大月市予防技術資格者の認定等に関する規程」の第2条第1項第1号アに定める資格者（防火査察）				2			2
「大月市予防技術資格者の認定等に関する規程」の第2条第1項第2号アに定める資格者（消防用設備）				1			1
「大月市予防技術資格者の認定等に関する規程」の第2条第1項第3号アに定める資格者（危険物）				2			2
合計		2	2	6			10

警 防



火 災 状 況

火災発生件数	7 件	死者	2 人
り災世帯数	2 世帯 4 名	負傷者	0 人
焼損棟数	2 棟	建物火災1件当たりの損害額	
焼損面積（損害額×千円）		$12386 \div 3 = 4,129$ 千円	
建物	3 件 320.2 m ²	建物火災 1 件当たりの焼損面積	
林野	0 件 0.0 a	$320.2 \div 3 = 107$ m ²	
車両	1 件 1 台		
その他	3 件 26 a		
損害合計額	14,096 千円		

月 別 出 場 状 況

車両火災欄上段は中央自動車道

区分 月別	火災種別					焼損面積		損害額（千円）
	建物	林野	車両	その他	計	建物（m ² ）	林野・その他（a）	
1月	1				1	131.0		3,179
2月	1				1			3
3月	1			2	3	189.2	3.0	9,204
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月				1	1			1,490
10月								
11月			1		1			220
12月								
合計	3		1	3	7	320.2	3.0	14,096

過去5年間の原因別火災状況

原因別	年数					累 計	平均件数
	18年	19年	20年	21年	22年		
たばこ		2		1		3	0.6
コンロ		2	2			4	0.8
かまど							
風呂かまど		1				1	0.2
炉							
焼却炉			1		1	2	0.4
ストーブ		1			1	2	0.4
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道			1			1	0.2
排気管	1	1	1	1		4	0.8
電気機器							
電気装置							
電気機器等の配線							
内燃機関			1			1	0.2
配線機器	1		3			4	0.8
火遊び	1	1			1	3	0.6
マッチ・ライター	2					2	0.4
たき火	1			1		2	0.4
溶接機・溶断機							
ロウソク							
落雷		1				1	0.2
取り灰			1	1		2	0.4
火入れ							
放火及び疑い		1		2		3	0.6
その他	8	3	2	1	1	15	3
不明	5	2	2		3	12	2.4
合 計	19	15	14	7	7	62	12.4

過去5年間の曜日別火災状況

年	曜日 種別	月	火	水	木	金	土	日	計
		平成18年	建物	1		3		1	
	林野								
	車両		3	1			1	1	6
	その他	1	3	1	1		2		8
	計	2	6	5	1	1	3	1	19
平成19年	建物	2	2	1	1	2			8
	林野				1				1
	車両	1				1		1	3
	その他	1					1	1	3
	計	4	2	1	2	3	1	2	15
平成20年	建物	1	2	2	2		1		8
	林野								
	車両	1						1	2
	その他	2	1					1	4
	計	4	3	2	2		1	2	14
平成21年	建物						1	1	2
	林野							1	1
	車両						1		1
	その他		1				1	1	3
	計		1				3	3	7
平成22年	建物		1				1	1	3
	林野								
	車両		1						1
	その他		1			1		1	3
	計		3			1	1	2	7
合計	建物	4	5	6	3	3	3	2	26
	林野				1			1	2
	車両	2	4	1		1	2	3	13
	その他	4	6	1	1	1	4	4	21
	計	10	15	8	5	5	9	10	62

過去5年間の地区別火災状況

年	地域	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	中央道	出張所	計
	種別											
平成18年	建物	1		1		1	1	1				5
	林野											
	車両		1						1	3	1	6
	その他	1		2		1	2	2				8
	計	2	1	3		2	3	3	1	3	1	19
平成19年	建物		1	2	1	1	1		1		1	8
	林野						1					1
	車両				1					1	1	3
	その他				1		1		1			3
	計		1	2	3	1	3		2	1	2	15
平成20年	建物	1	2	2	1		1		1			8
	林野											
	車両									2		2
	その他		1	1	2							4
	計	1	3	3	3		1		1	2		14
平成21年	建物			1	1							2
	林野										1	1
	車両									1		1
	その他			1				1	1			3
	計			2	1			1	1	1	1	7
平成22年	建物			1		1					1	3
	林野											
	車両			1								1
	その他	1			2							3
	計	1		2	2	1					1	7
合計	建物	2	3	7	3	3	3	1	2		2	26
	林野						1				1	2
	車両		1	1	1				1	7	2	13
	その他	2	1	4	5	1	3	3	2			21
	計	4	5	12	9	4	7	4	5	7	5	62

過去5年間の火災状況

種 別		年 別				
		18年	19年	20年	21年	22年
建 物	件 数	5 件	8 件	8 件	2 件	3 件
	損害額	20,897	55,037	58,672	2,804	12,386
林 野	件 数	0 件	1 件	0 件	1 件	0 件
	損害額		800			
車 両	件 数	6 件	3 件	2 件	1 件	1 件
	損害額	3,497	1,920	580	1,200	220
その他	件 数	8 件	3 件	4 件	3 件	3 件
	損害額	100	2			1,490
合 計	件 数	19 件	15 件	14 件	7 件	7 件
	損害額	24,494	57,759	59,252	4,004	14,096

中央自動車道過去5年間の火災状況

種 別	年 別				
	18年	19年	20年	21年	22年
建 物					
車 両	3	1	2	1	
その他					
合 計	3	1	2	1	

過去 30 年間の主な火災

(単位：千円)

年 月	場 所	焼 失 物 程 度	焼 失 面 積	損 害 額
S57. 1. 25	富 浜 町	住宅等 5 棟全焼	488 m ²	39,914
S59. 2. 12	七 保 町	住宅・旅館 2 棟全焼	505 m ²	28,910
S61. 3. 16	笹 子 町	住宅 6 棟全半焼	738 m ²	15,007
S61. 4. 24	富 浜 町	工場 2 棟全焼	200 m ²	35,163
S62. 3. 18	大 月	住宅・旅館 8 棟全半焼	1,476 m ²	90,208
S63. 4. 2	笹 子 町	住宅 2 棟全焼	520 m ²	6,498
H1. 12. 31	御 太 刀	倉庫・置場 2 棟全半焼	553 m ²	2,009
H2. 4. 30	大 月	住宅・店舗 2 棟全・部分焼	347 m ²	57,734
H3. 2. 27	初 狩 町	住宅・店舗 4 棟全・部分焼	460 m ²	67,340
H4. 2. 23	富 浜 町	住宅 1 棟全焼	110 m ²	3,181
H5. 3. 23	賑 岡 町	住宅 1 棟半焼	50 m ²	5,767
H5. 12. 18	大 月	住宅 1 棟半焼	102 m ²	10,727
H6. 6. 4	賑 岡 町	住宅 5 棟全・部分焼	300 m ²	19,803
H6. 6. 29	小 菅 村	作業場棟 2 棟全・部分焼	116 m ²	10,381
H6. 12. 30	大 月 町	住宅 1 棟全焼	122 m ²	14,026
H7. 1. 9	七 保 町	工場 2 棟全焼	1,307 m ²	28,975
H7. 5. 26	小 菅 村	住宅等 10 棟全焼	495 m ²	17,343
H8. 10. 28	初 狩 町	住宅 1 棟全焼	224 m ²	5,157
H9. 11. 1	七 保 町	林野・倉庫 1 棟全焼	14m ² ・882 a	9,675
H12. 3. 9	大 月 町	林野・3 日間延焼	1,782 a	6,893
H13. 5. 4	猿 橋 町	住宅 6 棟全・半・部分焼	87,048 m ²	23,406
H14. 2. 26	笹 子 町	住宅 1 棟全焼	297 m ²	8,800
H15. 1. 25	大 月 町	倉庫 1 棟全焼	264 m ²	4,248
H16. 8. 19	小 菅 村	住宅 1 棟半焼	51 m ²	703
H17. 12. 15	笹 子 町	林野 13 日間延焼	6,800 a	43,054
H18. 2. 8	笹 子 町	住宅 2 棟全焼	223,84 m ²	8,667
H19. 2. 16	大 月 町	住宅 1 棟全焼	162,31 m ²	19,339
H20. 5. 8	大 月 町	住宅 4 棟全焼	287,12 m ²	35,252
H21. 2. 14	賑 岡 町	倉庫 1 棟全・住宅 1 棟部分焼	58 m ²	2,671
H22. 3. 21	七 保 町	住宅 1 棟全焼・倉庫 1 棟半焼	131 m ²	3,179

救 急 概 要

平成22年中に救急隊が傷病者を救護するため出場した件数は1,229件で、一日平均約3.4件の救急事故に出場し、搬送人員は1,200人が医療機関へ搬送されました。

平 成 2 2 年 救 急 出 場 状 況

区 分	(1) 平成21年	(2) 平成22年	前年との比較 (▲減)		平成21年 一日平均	平成22年 一日平均
			(3)	増減比率 (%)		
			$(2) - (1) = (3)$	$(3) / (1) \times 100$		
出場件数	1,088	1229	141	13.0	2.9	3.4
急病	656	775	119	18.1	1.7	2.1
交通事故	142	156	14	9.9	0.3	0.4
一般負傷	190	182	▲ 8	▲ 4.2	0.5	0.5
その他	100	116	16	16.0	0.2	0.3
搬送人員	1,066	1200	134	12.6	2.9	3.3
急病	624	739	115	18.4	1.7	2.0
交通事故	174	188	14	8.0	0.4	0.5
一般負傷	185	174	▲ 11	▲ 5.9	0.5	0.5
その他	83	99	16	19.3	0.2	0.3
不搬送人員	68	74	6	8.8	0.1	0.2

月 別 出 場 件 数

月	種別			火災	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	出場件数
	地域												
1	大	月	市		10	1		8		1	73	10	103
	中	央	道		1						3		4
	出	張	所					2			3	2	7
2	大	月	市		3	1		25		1	68		98
	中	央	道		2						1		3
	出	張	所								1	1	2
3	大	月	市	1	5		2	12		1	68	9	98
	中	央	道		4						4		8
	出	張	所								3	1	4
4	大	月	市		4			10		1	41	3	59
	中	央	道								1		1
	出	張	所		1			4			1	2	8
5	大	月	市		11		1	13		3	51	6	85
	中	央	道								1		1
	出	張	所		1			4			1	1	7
6	大	月	市		8	1	1	9		3	50	6	78
	中	央	道		8						1		9
	出	張	所		2					1	8		11
7	大	月	市		7		1	10	1	1	81	6	107
	中	央	道	1	10			1			1		13
	出	張	所		2			1		1	1	1	6
8	大	月	市		13	1	1	16		1	69	2	103
	中	央	道		4			1			3	1	9
	出	張	所		3			2			5	2	12
9	大	月	市		9			16			57	2	84
	中	央	道		5						3		8
	出	張	所		2	1		4			3		10
10	大	月	市		5		2	15			62	2	86
	中	央	道		4						1		5
	出	張	所		3	1					4	1	9
11	大	月	市		14	3		12		1	43	8	81
	中	央	道								2		2
	出	張	所		1			1		1	5		8
12	大	月	市		10			14		2	52	12	90
	中	央	道		3								3
	出	張	所		1			2			4		7
小計	大	月	市	1	99	7	8	160	1	15	715	66	1072
	中	央	道	1	41			2			21	1	66
	出	張	所		16	2		20		3	39	11	91
合 計				2	156	9	8	182	1	18	775	78	1,229

種 別 ・ 曜 日 別 出 場 件 数

曜日 種別	月	火	水	木	金	土	日	合 計
火 災					1		1	2
自然災害								
水 難					1	1		2
交通事故	27	23	13	13	26	33	21	156
労働災害		2	1	2	3		1	9
運動競技	2	1	1	1	1		2	8
一般負傷	26	19	27	19	21	30	40	182
加 害	1							1
自損行為	6	3	1	3	1	2	2	18
急 病	119	99	111	101	113	108	124	775
転 院	18	14	13	10	7	5	5	72
医師搬送								
その他			1		1		2	4
合 計	199	161	168	149	175	179	198	1,229

時 間 別 出 場 件 数

時間	種別 区分	火	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	通	働	動	般	害	損	病	の	
			事	災	競	負		行		他	計
			故	害	技	傷		為			
0~2	件 数		5			5			33	2	45
	搬送人員		6			5			32	2	45
2~4	件 数		5			2			33	3	43
	搬送人員		6			2			31	3	42
4~6	件 数		2			5		1	32	2	42
	搬送人員		2			4			32	1	39
6~8	件 数	1	9			12			60	3	85
	搬送人員		8			12			55	3	78
8~10	件 数	1	15	3		30		2	103	13	167
	搬送人員		19	3		29		1	98	13	163
10~12	件 数		19	2	3	20		2	73	10	129
	搬送人員		21	2	3	18		1	72	10	127
12~14	件 数		17			15		2	85	17	136
	搬送人員		22			15		1	79	15	132
14~16	件 数		33	4	1	31	1	3	57	10	140
	搬送人員		36	3	1	29	1		53	9	132
16~18	件 数		25		3	27		1	80	9	145
	搬送人員		29		3	27			77	9	145
18~20	件 数		13			15		4	75	7	114
	搬送人員		22			13		3	69	6	113
20~22	件 数		6		1	13		1	74	1	96
	搬送人員		8		1	13		1	72	1	96
22~24	件 数		7			7		2	70	1	87
	搬送人員		9			7		2	69	1	88
合 計	件 数	2	156	9	8	182	1	18	775	78	1229
	搬送人員	0	188	8	8	174	1	9	739	73	1200

年 齡 別 搬 送 状 況

種別 年齢	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新生児 (28日以内)										1		1
乳幼児 (29日～6歳)				10			11			31	2	54
少年 (7～17歳)				9		6	8			16	3	42
成人 (18～64歳)				144	6	2	39	1	7	226	19	444
老人 (65歳以上)				25	2		116		2	465	49	659
合 計	0	0	0	188	8	8	174	1	9	739	73	1,200

傷 病 程 度

種別 程度	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死亡							1		3	32		36
重症				11			16		2	97	27	153
中傷				42	6	1	81		2	312	40	484
軽症				135	2	7	76	1	2	296	6	525
その他										2		2
合計	0	0	0	188	8	8	174	1	9	739	73	1,200

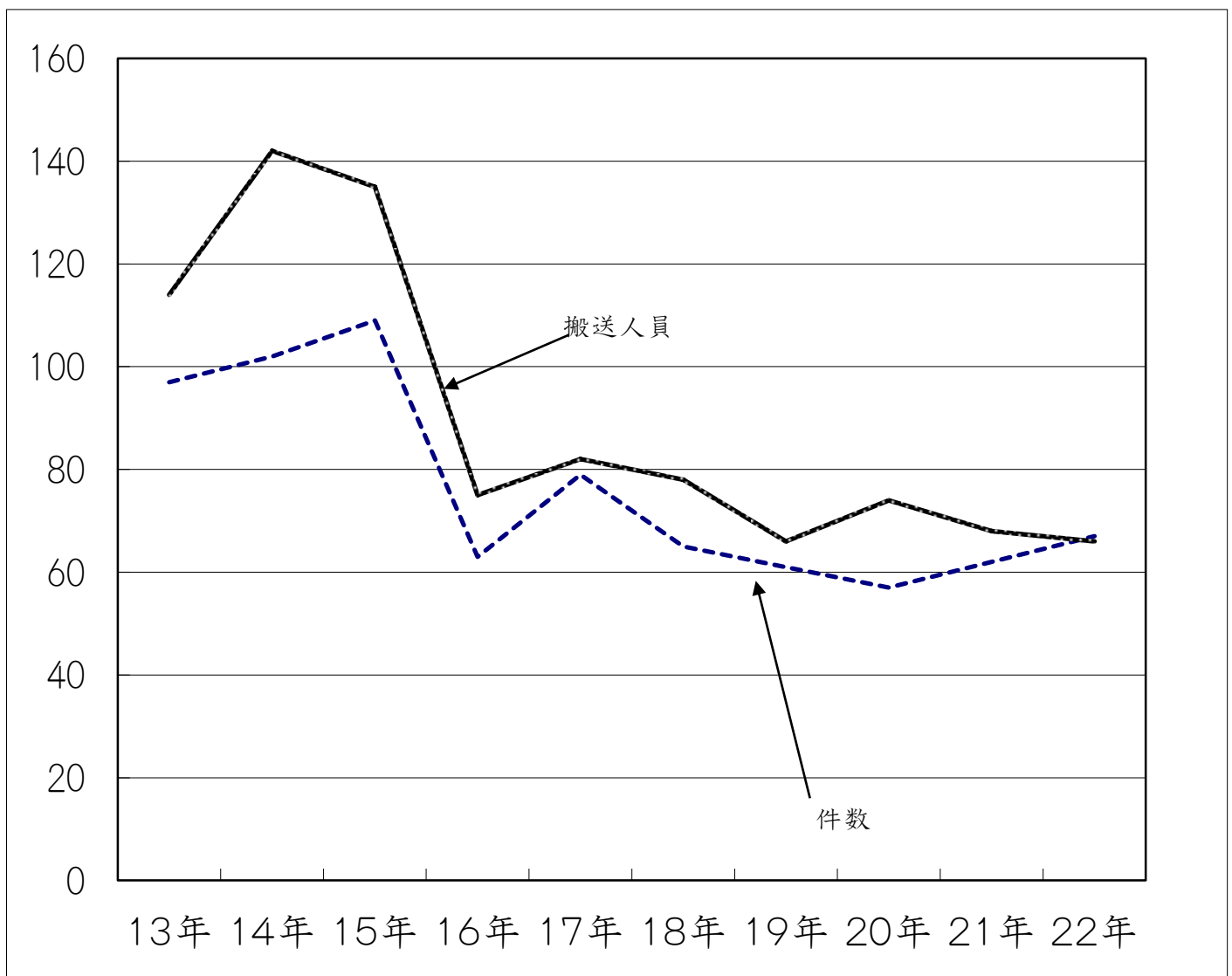
過 去 1 0 年 間 の 救 急 出 場 件 数

地区別 年別	大月市	小菅村	丹波山村	中央道	合 計
13年	978	66	75	97	1,216
14年	951	61	68	102	1,182
15年	1,054	69	73	109	1,305
16年	1,037	81	62	63	1,243
17年	1,082	70	36	79	1,267
18年	981	71	49	65	1,166
19年	1,058	75	54	61	1,248
20年	937	72	47	57	1,113
21年	932	50	44	62	1,088
22年	1,072	49	42	66	1,229
合 計	10,082	664	550	761	12,057

過 去 1 0 年 間 の 搬 送 人 員

種別 年別	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 事 故	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
13年				246	17	8	150	7	15	653	106	2	1,204
14年	2			290	15	9	163	5	14	599	120	1	1,218
15年				277	12	7	153	8	16	723	116		1,312
16年	2			237	9	14	164	6	5	701	106		1,244
17年	3			241	10	6	163	3	8	733	87	2	1,256
18年	3		2	198	12	6	175	6	5	649	84		1,140
19年		1		195	11	11	184	3	12	717	73	3	1,210
20年	2			165	12	7	184	2	12	636	54		1,074
21年				174	12	11	185	3	10	624	47		1,066
22年				188	8	8	174	1	9	739	72	1	1,200
合 計	12	1	2	2,211	118	87	1,695	44	106	6,774	865	9	11,924

過去10年間の中央自動車道における救急出場状況



種別	年別		13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
	交通事故	件数	搬送人員	68	71	85	31	49	40	40	40	34
急病	件数	搬送人員	17	26	15	21	19	17	18	13	20	21
	搬送人員		17	24	14	18	18	14	14	13	18	20
一般負傷	件数	搬送人員	4	2	2	3	1	4	0	1	5	2
	搬送人員		2	3	2	3	1	4	0	1	4	2
その他	件数	搬送人員	8	3	7	8	10	4	3	3	3	2
	搬送人員		0	0	0	1	1	1	0	0	1	1
合計	件数	搬送人員	97	102	109	63	79	65	61	57	62	66
	件数		97	102	109	63	79	65	61	57	62	66
	搬送人員		114	142	135	75	82	78	66	74	68	67

救 助 活 動 状 況

() 内中央自動車道

種別 年別	交通事故	水難事故	自然災害	労働災害	山岳事故	その他	合計	出場延人数
S59年	10	1				9	20	93
S60年	5					13	18	163
S61年	13					2	15	104
S62年	9					7	16	215
S63年	10	1				11	22	160
H元年	12	2				7	21	110
H2年	21 (11)	1				15	37	75
H3年	20 (8)		3			9	32	74
H4年	12 (6)					9	21	102
H5年	11 (5)					7	18	124
H6年	16 (7)					10	26	52
H7年	16 (6)				5	7	28	50
H8年	13 (5)			1	6	8	28	83
H9年	21 (4)					8	29	150
H10年	13 (7)	1			4	7	25	156
H11年	13 (6)	3			4	9	29	220
H12年	10 (3)			1	4	2	17	133
H13年	24 (9)			1	6	6	37	236
H14年	15 (5)	1		2	4	11	33	141
H15年	18 (8)					9	27	260
H16年	19 (5)					12	31	429
H17年	18 (10)				9	10	37	191
H18年	14 (8)	1		1	2	7	25	176
H19年	12 (4)	2			7	9	30	199
H20年	15 (7)	1		1	13	5	35	219
H21年	13 (2)	1		1	6	6	27	220
H22年	11 (2)	4			3	10	28	193
合計	384 (128)	19	3	8	73	225	712	4,328

車 両 配 置 状 況

区分 所属	名 称	車 種	型 式	配備年度	
大月市 消防本部 (署)	査 察 車 (大月査察1)	トヨタ	CBE-NCP50V	平成18年度	
	査 察 車 (大月査察2)	マツダ	GF-LW5W	平成12年度	
	指 揮 車 (大月指揮1)	トヨタ	GE-VCH28S	平成12年度	
	原因調査車 (大月原調1)	スズキ	E-TD01W改	平成6年度	
	普通ポンプ自動車 (大月ポンプ1)	いすゞ	U-NKS58GR改	平成5年度	
	普通ポンプ自動車 (大月ポンプ2)	三菱	KC-FE538B	平成8年度	
	化学ポンプ自動車 (大月化学1)	日野	PB-G×7JGF A改	平成16年度	
	救助工作車 (大月救助1)	日野	P-GD172BA改	平成2年度	
	小型ポンプ積載車 (大月積載1)	いすゞ	KK-NHS69EA (小型ポンプ1台積載)	平成16年度	
	梯子付ポンプ自動車 (大月梯子1)	日野	KB313改	昭和49年度	
	救 急 車 (大月救急1)	トヨタ	TC-VC28S	平成15年度	
	高規格救急車 (大月救急2)	トヨタ	CBF-TRH226S	平成21年度	
	高規格救急車 (大月救急3)	日産	E-ALWE50改	平成11年度	
	消防長車 (大月広報1)	トヨタ	E-JZS130G	平成9年度	
	小 菅 出張所	高規格救急車 (小菅1)	トヨタ	CBF-TRH226S	平成21年度
		普通ポンプ自動車 (小菅2)	三菱	P-FG335C改	平成元年度
	丹波山 出張所	高規格救急車 (たば1)	トヨタ	CBF-TRH226S	平成22年度
普通ポンプ自動車 (たば2)		いすゞ	U-NKS58GR改	平成6年度	

資 機 材 保 有 状 況

種別	器具名	数量	
放水器具	ホース (40mm)	28	
	ホース (50mm)	219	
	ホース (65mm)	170	
	ウォーターカーテン	4	
	フォグガン	7	
	高発泡消火装置	4	
	高発泡ノズル	4	
	低発泡ノズル	2	
保護器具	化学防護服	3	
	救助マット	1	
	安全ネット	1	
救助器具	救命綱 (200・100・50m)	15	
	感電防止衣	5	
	救命索発射銃	4	
	空気呼吸器	31	
	空気呼吸器予備ボンベ	43	
	耐熱服	6	
	エンジンカッター	5	
	大型油圧救助機具	1	
	油圧式救助機具	5	
	チェーンソー	3	
	ウインチ	4	
	エアソー	3	
	排煙送風機	1	
	ガス溶断機	3	
	エンジンライト	2	
	投光器一式	7	
	万能斧	9	
	チルホール	4	
	ウエットスーツ	4	
	救助ボート	ゴム製	2
		アルミ製	1
	救命胴衣	17	
	救命浮輪	7	

種別	器具名	数量	
測定器	可燃性ガス測定器	1	
	有毒ガス測定器	2	
	酸素濃度測定器	1	
	ガス測定器	1	
救急資器材	人工蘇生器	自動式	6
		手動式	11
	患者監視装置	7	
	ロングバックボード一式	11	
	吸引器	7	
	自動式心マッサージ器	3	
	携帯用血中酸素飽和度測定器	8	
	輸液ポンプ	1	
	半自動式除細動機	8	
	電子血圧計	6	
	噴霧消毒器	3	
	マジックギブス	6	
	その他機具	小型動力ポンプ	3
軽量動力ポンプ		9	
背負い式散水器		69	
山林火災用ポンプ		1	
ファイヤーファインダー		1	
ポケットナビ		7	
船外機		2	
デジタルカメラ		5	
ショートボード		3	

町別防火水槽設置状況

種別		町別										合計
		笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	小菅	丹波山	
防火水槽	30m ³ 級		2	3	14	8	6	17	1	2		53
	40m ³ 級	24	25	47	33	60 (1)	47	28	21	28	2	315 (1)
	60m ³ 級	4 (4)	7 (7)	13 (13)	7 (6)	9 (9)	11 (10)	8 (8)	5 (5)	2 (2)		66 (64)
	100m ³ 級	2 (2)	4 (4)	9 (9)	5 (5)	2 (2)	10 (10)	11 (9)		2		45 (41)
	計	30 (6)	38 (11)	72 (22)	59 (11)	79 (12)	74 (20)	64 (17)	27 (5)	34 (2)	2	479 (106)

() は耐震性防火水槽

年度別防火水槽設置状況

年度別	町別										合計
	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	小菅	丹波山	
平成13年度					1	1					2
平成14年度						1					1
平成15年度			1		1						2
平成16年度		1				1			2		4
平成17年度			1	1							2
平成18年度					1	1					2
平成19年度					1	1	1				3
平成20年度	1		1				1				3
平成21年度											0
平成22年度											0
計	1	1	3	1	4	5	2	0	2	0	19

応急手当・消火避難訓練等对外指導

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
自主防 災組織							3	3	6				12
							60	150	260				470
事業所	1		1	1		2		1	5	1	2		14
	50		10	20		44		20	282	10	292		728
学 校					1	10	11	1	3	1	4	2	33
					150	302	273	23	975	70	261	612	2,666
各種団 体組織		1	1					1		1			4
		45	17					20		70			152
消防団					1					2			3
					70					32			102
合計	1	1	2	1	2	12	14	6	14	5	6	2	66
	50	45	27	20	220	346	333	213	1,517	182	553	612	4,118

(上段：回数、下段：対象人員)

月別気象状況

温度と湿度 (24時間)

月	気 温 (°C)			相対湿度 (%)			実効湿度 (%)	
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低
1	20.2	-6.9	3.1	92.5	6.9	52.5	62.5	39.3
2	24.9	-5.1	3.8	92.4	10.5	70.5	89.7	48.5
3	25.1	-4.3	7.1	92.4	8.6	66.4	82.7	46.3
4	31.6	3.1	10.2					
5	32.7	8.8	16.2					
6	33.3	9.1	21.7	92.7	21.1	70.4	76.3	63.4
7	37.3	19.1	25.7	92.7	30.0	72.4	64.8	78.6
8	37.0	20.5	27.2	92.5	24.1	69.6	64.9	75.1
9	37.1	10.7	22.8	93.3	22.4	72.6	82.3	61.1
10	28.8	6.0	16.1	93.3	31.1	77.8	85.0	72.6
11	20.2	-0.5	9.1	93.8	10.2	68.9	82.4	58.7
12	23.2	-4.8	5.6	93.6	13.6	61.4	75.0	46.3
平均	29.3	4.6	14.1	92.9	17.9	68.3	76.6	59.0

天候 (9時) と風向風速

月	日 数				最 大 最 多 値			平均 風速 m/s	降水量 mm
	晴 れ	曇 り	雨	雪	積雪 cm	風向 方位	風速 m/s		
1	28	3	0			南西	19.3	1.5	8.0
2	15	6	3	4		南西	16.3	1.3	78.0
3	15	11	5			西北西	18.1	1.5	126.5
4	18	6	6			南西	17.4	1.3	111.5
5	20	9	2			西北西	11.8	1.2	84.0
6	16	11	3			東北東	10.5	1.1	95.0
7	20	9	2			西北西	11.3	1.0	183.0
8	20	9	2			北	11.2	1.0	53.5
9	17	4	9			北東	10.8	1.0	223.5
10	8	14	9			北東	8.8	0.8	200.5
11	23	6	1			西北西	15.7	1.1	67.5
12	27	3	1			西北西	15.5	1.4	93.0
合 計	227	91	43	4					1,324.0

月別気象情報

警 報

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
大雨洪水									1				1
大雪													0
暴風													0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

注意報

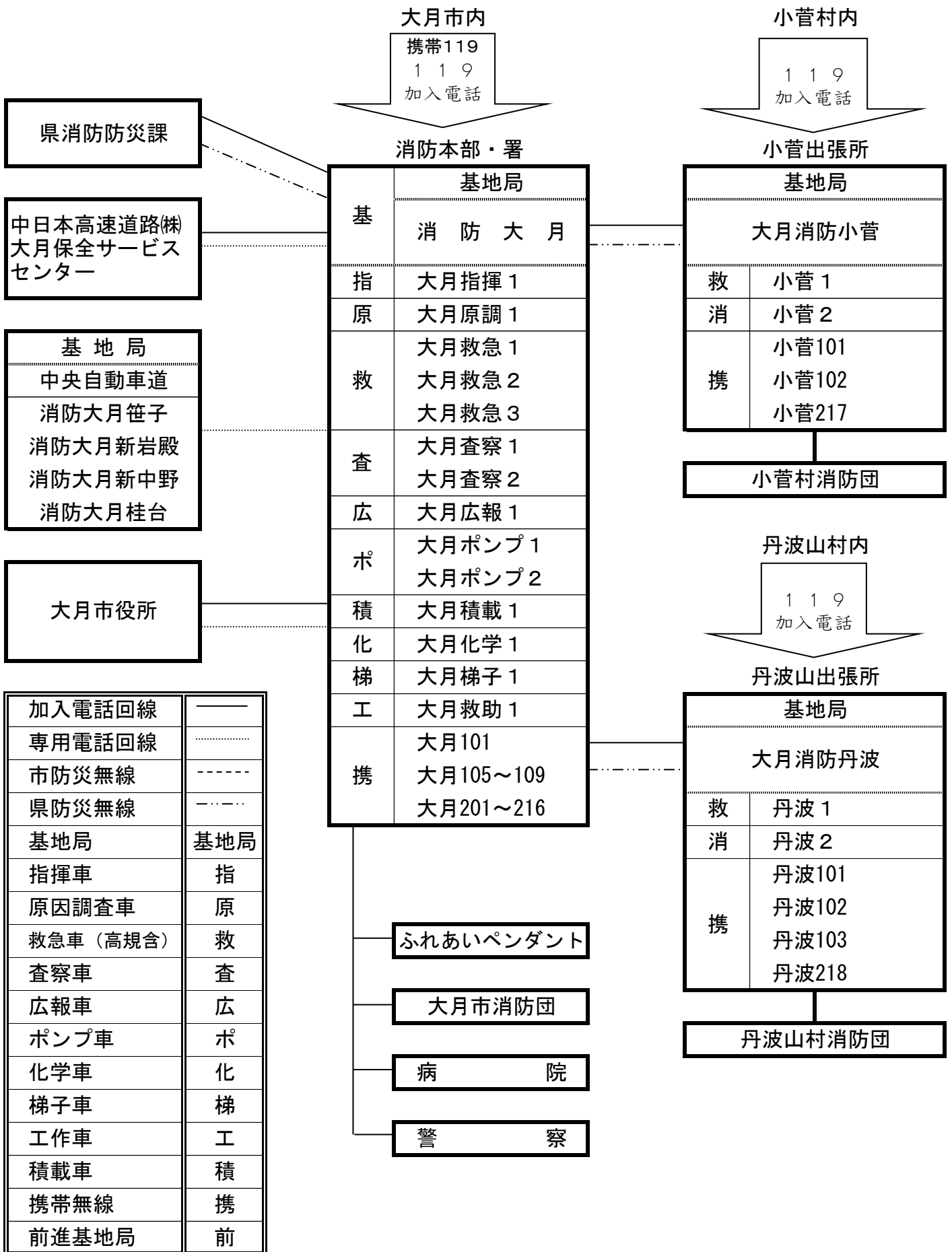
月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
乾燥	3											2	5
強風		1								1			2
大雨						1	14	9	1	2		1	28
洪水				1	1	1	13	9	8	2		1	36
雷			1		5	23	54	54	20	5	1	2	165
濃霧	1	6		1	1	1			2	1			13
霜			16	13	4								33
大雪	1	4	1										6
着雪	1	4	2	1									8
雪崩													0
低温	4	6											10
合計	10	21	20	16	11	26	81	72	31	11	1	6	306

(注意報切替回数を含む)

通報・情報

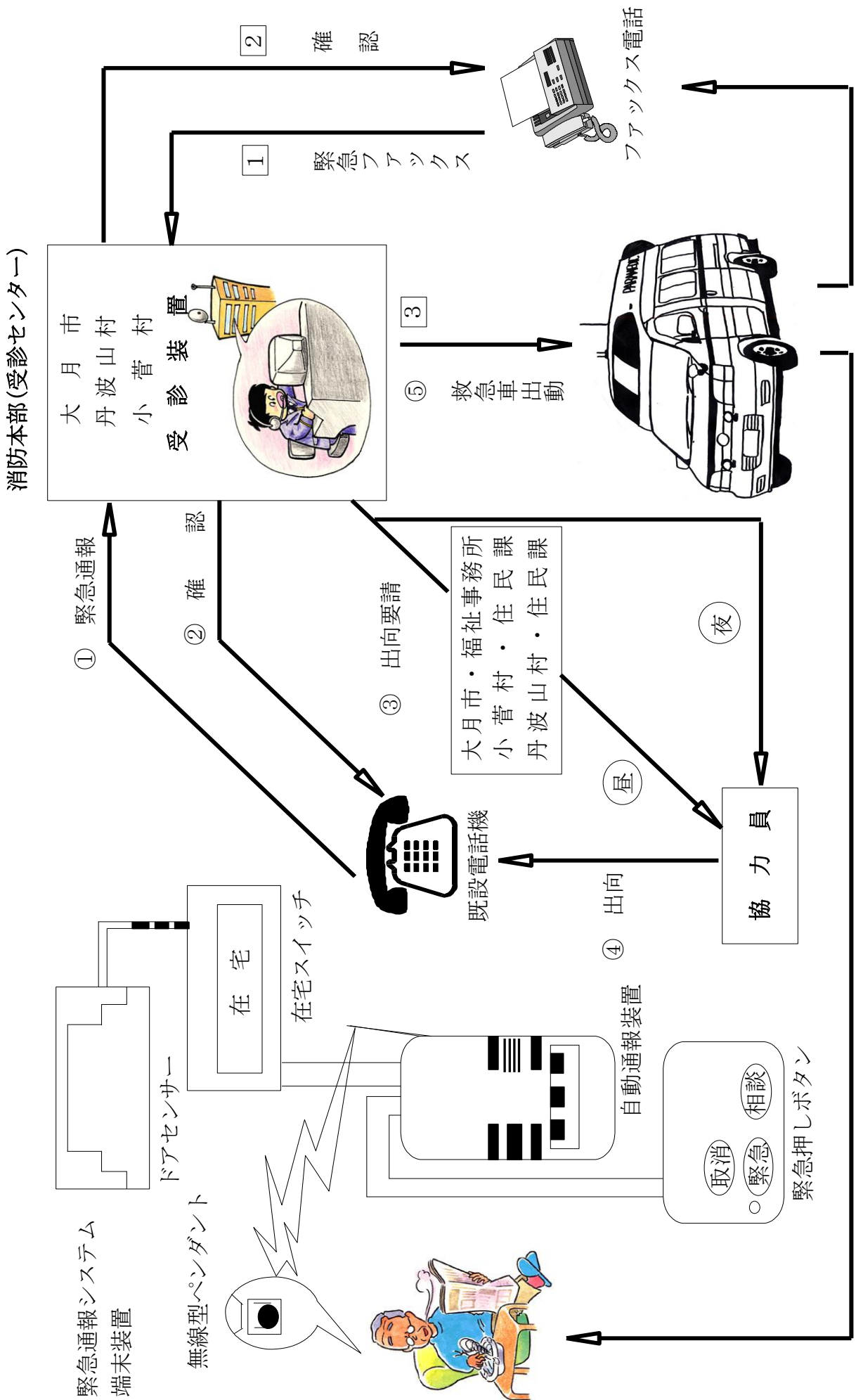
月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災気象通報	15	4	1									6	26
台風情報								6	5	6			17
大雨情報				1		3	14	8	1				27
大雪情報	1	8	5	5	1				1				21
地震	1	1	1			4						1	8
低温													0
その他			2	2	4	9	30	18	4			6	75
合計	17	13	9	8	5	16	44	32	11	6	0	13	174

通 信 系 統 図



ふれあいペンダント緊急通報システム図

(聴覚障害者専用FAX119)



ふれあいペンダント設置数・受信状況

区分 町村別	設置台数	受信件数	緊 急	誤 報	相談・問合せ	その他
笹子町	2	6				4
初狩町	10	24	3	8	1	7
大月町	35	109	1	19	5	79
賑岡町	5	13			1	11
七保町	14	27	3	6	1	14
猿橋町	11	39	1	5		28
富浜町	15	39	1	7		27
梁川町	7	14		2	1	9
小菅村	10					
丹波山村	1	4		1		3
計	110	275	9	48	9	182

消防団



消 防 団 の 現 勢 力

分 団 別		本	第	第	第	第	第	第	第	第	計
階 級 別		団	一	二	三	四	五	六	七	八	
		団	分	分	分	分	分	分	分	分	
		団	団	団	団	団	団	団	団	団	
消 防 団 員 数	団 長	1									1
	副 団 長	2									2
	分 団 長		1	1	1	1	1	1	1	1	8
	副 分 団		1	1	1	1	1	1	1	1	8
	ラ ッ パ 隊 長	1									1
	部 長		2	2	4	8	6	6	5	4	37
	副 部 長		4	4	7	8	12	9	5	4	53
	班 長		18	12	45	27	53	25	24	19	223
	団 員		35	48	90	65	116	63	38	36	491
	協 力 団 員		13	8			8	10		1	40
	計	4	74	76	148	110	197	115	74	66	864
配 備 機 械	消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	2	7	1	3	4	5	1	24
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車		5	2	4	7	9	5		3	35
	小 型 動 力 ポ ン プ		6	5	9	8	13	9	4	7	61
人 口		28,326人									
世 帯 数		10,664世帯									

消 防 団 員 階 級 別 年 齢

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	ラ ッ パ 長	部 長	副 部 長	班 長	団 員	協 力 団 員	計
20才以下									3		3
21～25						1			55		56
26～30								20	128		148
31～35						4	9	70	113		196
36～40						17	21	85	98	2	223
41～45						12	19	42	56	4	133
46～50			1	1	1	3	4	4	27	6	47
51～55			1					2	9	6	18
56才以上	1	2	6	7					2	22	40
計	1	2	8	8	1	37	53	223	491	40	864

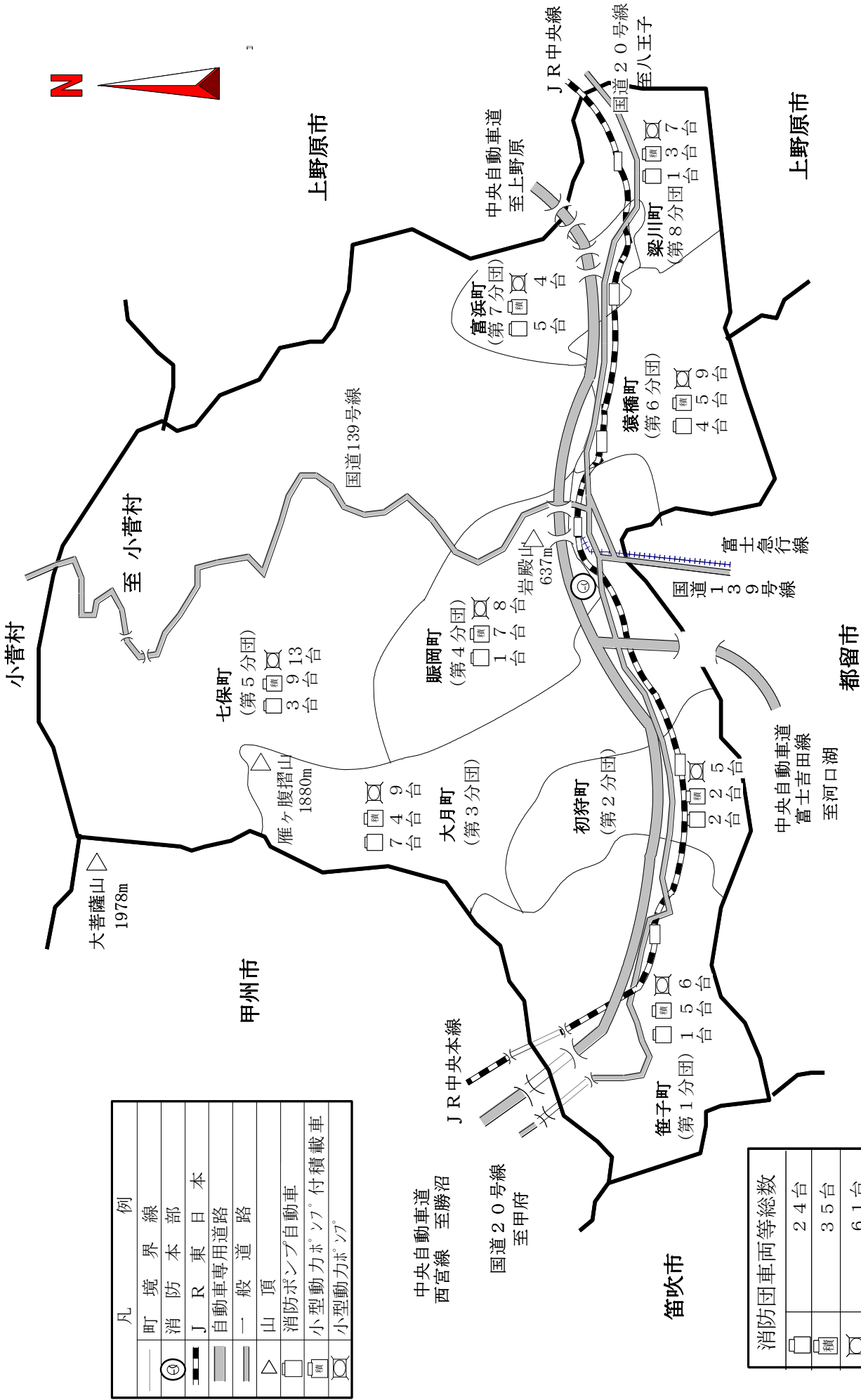
消 防 団 員 報 酬 ・ 手 当 ・ 交 付 金

報酬 年額	団長 ¥40,000	副団長 ¥24,000	分団長 ¥15,000	副分団長 ¥10,000	部長 ¥7,000	班長 ¥5,000	団員 ¥4,000
手当	水・火災出場及び警戒＝1回、1,000円 放水車両手当＝1台、2,000円						
本団・分団 運営交付金	本団運営交付金（20,000円）						
	各分団一律交付＝100,000円（ラッパ隊、200,000円）						
	詰所割交付＝10,000円 光熱水費詰所割交付＝5,000円						
	燃料費（自動車＝25,000円、積載車＝14,000円、小型ポンプ＝6,000円）						

平成 2 2 年度消防団員火災等出場状況

部 分団	分団長等	1部	2部	3部	4部	5部	6部	7部	8部	協力団員	水防訓練	計
第 1 分団	1									1		2
第 2 分団	1	27	6									34
第 3 分団	5	62	10	40	55							172
第 4 分団	2	5	3	8	6	15	3	5				47
第 5 分団												
第 6 分団	4	25	18	15	16	6	3			2		89
第 7 分団		9	6									15
第 8 分団												
ラッパ隊	44											44
本 団	20											20
合 計												423名

消防団分団別車両等配置図



凡	例
—	町境界線
⊙	消防本部
—	J R 東日本
—	自動車専用道路
—	一般道路
△	山頂
□	消防ポンプ自動車
▣	小型動力ホップ付積載車
⊗	小型動力ホップ

消防団車両等総数	
□	24台
▣	35台
⊗	61台

平成22年版
消 防 年 報
平成23年6月発行
大 月 市 消 防 本 部
〒401-0015
大月市大月町花咲1608番地19
TEL (0554)22-0119
FAX (0554)23-0119